

令和7年度 研修講座一覧

とくしま教職員研修



徳島県教育委員会

目 次

1 はじめに	1
2 本県が目指す教員像	1
3 とくしま教員育成指標における資質・能力	1～2
4 とくしま教員育成指標	3～15
5 とくしま教員育成指標を踏まえた研修体系	16
6 受講のしくみ	17
7 各研修講座表の見方	18
8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス	19
9 研修講座の紹介	
① 「5つの柱」別研修講座	20～24
② 研修種別講座	
I 基本研修	25
II 職務研修	25～27
III 推薦研修	28
IV 特別研修	28～29
V 希望研修	29
VI 教育職員免許法認定講習等	30
VII 大学・研究機関等研修等	30
VIII 自主研修	30
IX 受託研修	30
10 研修講座の申込み	31～33
11 研修履歴の活用について	34
12 利用案内	
カリキュラムサポートセンター／カリキュラム・カフェ／マナビィセンター	35～36
徳島型メンター制度Ⅱ（サークル型メンター制研修） ～対等な関係性の中で主体的・対話的に学び合う～	37
交通アクセス／フロア案内図／周辺地図	

1 はじめに

徳島県教育委員会では、教員等が教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続け、高度専門的職業としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質・能力を明確化するため、「とくしま教員育成指標」を策定しています。この「とくしま教員育成指標」が、主体的に学び続け自己を高めるための「道しるべ」となり、活用されていくことが強く求められます。

「とくしま教員研修」は「とくしま教員育成指標」を踏まえ、研修体系を再構築したものです。連続性・発展性のある「キャリアステージに応じた研修」と、学習指導要領や喫緊の課題等に対応するための「目的やニーズに応じた研修」の2つを柱に、主体的に学び続け自己を高める教職員を支える多様な研修講座を開設します。

総合教育センター等で行われる校外研修（OFF-JT）と校内での業務を通じた研修（OJT）、自己啓発（SD）を意図的・計画的に関係付け、自身のキャリアデザインに積極的に取り組んでください。そして、自己研鑽のため、子供たちの未来のために、目的意識をもって研修を活用してください。

2 本県が目指す教員像

「徳島教育大綱」における基本方針「個性と国際性に富み、夢と志あふれる『人財』の育成」を目指し、主体的に学び続け自己を高める教員

3 とくしま教員育成指標における資質・能力

令和4年8月、変化の激しい時代において、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適な学び、協働的な学びにより、教職生涯を通じて学び続けるといった、新たな教師の学びを実現する観点から、改正教育公務員特例法（令和4年5月）を受け、より効果的な教師の資質向上を図るため、「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」が改正されました。

その中で、教師に共通的に求められる資質・能力を、①教職に必要な素養、②学習指導、③生徒指導、④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応、⑤ICTや情報・教育データの利活用の5つの柱で再整理し、教員研修計画の整備等、教員等としての資質の向上を推進する体制整備に取り組む重要性が示されたことを受け、令和5年2月に再整理を行いました。

とくしま教員育成指標における資質・能力については、各校種・職種（管理職は除く）とも、前述の「5つの柱」との対応を図り、次のように設定しました。

5つの柱	とくしま教員育成指標の柱（校種・職種）
①教職に必要な素養	○素養（全校種・職種）
②学習指導	○授業力・学習指導（小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の教諭） ○専門的職務実践力・学習指導（養護教諭・栄養教諭）
③生徒指導	○担任力・生徒指導（全校種・職種）
④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	○特別な配慮・支援（特別支援学校教諭以外） ○特別支援の充実（特別支援学校教諭）
⑤ICTや情報・教育データの利活用	○ICTの利活用（全校種・職種）

※イメージ図：本冊子の表紙参照

職務研修、推薦研修、特別研修、希望研修の表中における【とくしま教員育成指標における資質・能力】についての記号対応は次の通りです。

【教諭用】

1	素養	A	使命感・倫理観
		B	識見・学び続ける力
		C	社会性・コミュニケーション力
		D	学校組織マネジメント力
		E	連携・協働力
		F	危機管理能力
2	授業力・学習指導	A	カリキュラム・マネジメント力（小・中・高・特）
		B	授業構想力（小・中・高・特）
		C	授業実践力（小・中・高・特）
		D	授業省察力・改善力（小・中・高・特）
	専門的職務実践力・学習指導	A	保健管理（養）
		B	保健教育（養）
		C	健康相談（養）
		D	保健室経営（養）
		E	保健組織活動（養）
		F	教科等における教育指導（栄）
		G	個別的な相談指導（栄）
		H	学校給食の管理（栄）
		I	食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開（栄）
		J	食育コーディネーターとしての連携・調整（栄）
3	担任力・生徒指導	A	児童生徒理解・指導力（小・中・高・養・栄） 幼児児童生徒理解・指導力（特）
		B	集団づくり力
		C	課題解決力
		D	未来ビジョン育成力
		E	目標の明確化・実態把握力（特）
		F	チームによる組織力（特）
4	特別な配慮・支援	A	個に応じた指導・支援力（小・中・高・養・栄）
		B	チームによる実践（小・中・高・養・栄）
		C	「わかった」「できた」を育む学習支援力（小・中・養・栄）
		D	「わかった」「できた」を育む生活支援力（小・中・養・栄）
		E	多様性に基づく学習支援力（高）
		F	多様性に基づく生活支援力（高）
	連携・調整	G	センター的機能の推進力（特）
		H	地域貢献力（特）
5	ICT活用	A	ICTを学習指導に活用する力
		B	ICTを効率的な業務の遂行に活用する力

【管理職用】

素養	A	使命感・責任感
	B	倫理観
	C	リーダーシップ・決断力
	D	先見性・識見
	E	社会性・人間関係構築力
学校マネジメント力	A	企画経営力
	B	組織づくり力
	C	危機管理能力
	D	学校資源整備・活用力
	E	人材育成力
	F	連携・交渉力
	G	職場環境づくり力
	H	特別支援教育推進力

※（ ）内の表記について

小…小学校教諭

中…中学校及び中等教育学校（前期）教諭

高…高等学校及び中等教育学校（後期）教諭

特…特別支援学校教諭

養…養護教諭

栄…栄養教諭

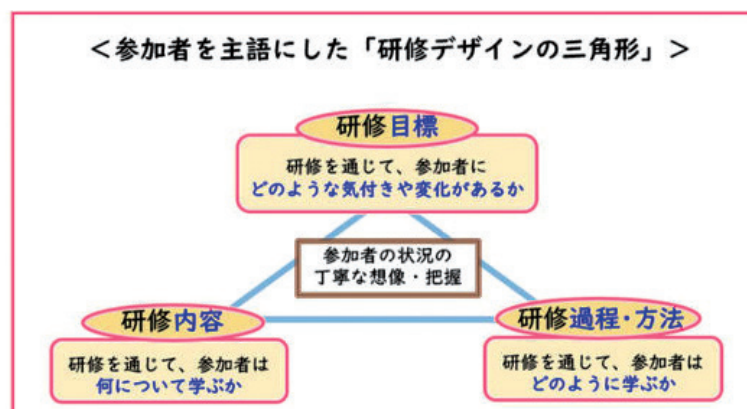
※（ ）がない項目は、全校種・職種が該当する

※特別支援学校教諭の「特別支援の充実」は、障がいのある児童生徒一人一人に応じた支援・配慮を全ての指導場面で実施することから、全ての教員に特別支援に関する一層の専門性向上が求められており、新時代の特別支援教育を担うために必要な資質・能力として、新たに示しました。

※幼稚園等については、徳島県教育委員会学校教育課作成の「幼稚園等教諭教員育成指標モデル」「幼稚園等管理職等教員育成指標モデル」に拠ります。

徳島県教育委員会では、令和の日本型学校教育を担う新たな教師の学びの姿の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成に資するため、個別最適で協働的な学びの充実を通じた、主体的・対話的で深い学びにつながる研修を企画・実施します。

また、その際、参加者の豊かな気付きが醸成されるよう、「研修目標」「研修内容」「研修過程・方法」の3つの観点から研修をデザインします。



※「研修観の転換」に向けたNITSからの提案（第一次）～豊かな気付きの醸成～独立行政法人教職員支援機構（令和6年4月）より

4 とくしま教員育成指標

【小学校教諭用】

令和5年度改訂

資質・能力	キャリアステージ		採用時に本県が求める力		〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉	
	基盤形成期		育成期		基盤形成期		伸長・充実期		深化・発展期	
A 使命感・倫理観	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。		○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。		○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。		○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	
	○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	
	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	
	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	
	○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	
	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	
D 学校組織マネジメント力	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	
	○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	
E 連携・協働力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	
	○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めている。		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めている。		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めている。		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めている。		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めている。	
F 危機管理能力	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	
	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考慮し、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考慮し、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考慮し、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考慮し、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考慮し、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。	
A カリキュラム・マネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。		○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。		○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。		○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。		○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	
	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	
	○児童の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付け、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。		○児童の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付け、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。		○児童の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付け、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。		○児童の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付け、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。		○児童の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付け、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。	
B 授業構想力	○育成を目指す資質・能力の定着に向けて、児童の学びの様子を把握しながら授業を実践しようとしている。		○育成を目指す資質・能力の定着に向けて、児童の学びの様子を把握しながら授業を実践しようとしている。		○育成を目指す資質・能力の定着に向けて、児童の学びの様子を把握しながら授業を実践しようとしている。		○育成を目指す資質・能力の定着に向けて、児童の学びの様子を把握しながら授業を実践しようとしている。		○育成を目指す資質・能力の定着に向けて、児童の学びの様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	
	○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に努めている。		○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に努めている。		○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に努めている。		○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に努めている。		○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に努めている。	
	○児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。		○児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。		○児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。		○児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。		○児童一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。	
C 授業実践力	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につなげる助言をしている。		○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につなげる助言をしている。		○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につなげる助言をしている。		○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につなげる助言をしている。		○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につなげる助言をしている。	
	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。		○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。		○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。		○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。		○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。	
	○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。		○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。		○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。		○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。		○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。	

素養		ICTの活用		特別な配慮・支援		担任力・生徒指導	
D	授業省察力・改善力	児童生徒理解・指導力	児童生徒理解・指導力	○児童の習得状況に応じた指導・支援の方法を理解している。	○児童の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導・支援をしている。	○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。
				○児童理解の意義や、児童の心身の発達過程・特徴について理解している。	○児童の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○児童に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築することともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○児童の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。
				○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○異年齢集団等様々な集団活動について、よりよい集団に高め、集団相互の関わりを活性化させるとともに、若手教員に助言をしている。	○学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。
				○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家に助言をしている。	○様々な課題に気づき、児童、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。
D	未来ビジョン育成力	児童生徒理解・指導力	児童生徒理解・指導力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校全体で児童を支援する体制の整備を推進している。
				○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○児童の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	○児童の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	○個々の児童に対する合理的配慮の実施について助言したり、障がい者理解の促進について、家庭や地域への発信に努めたりしている。
				○関係する校務分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しながら、指導・支援に取り組んだり、児童同士の相互理解が深まるような交流を図っている。	○保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しながら、指導・支援に取り組んだり、児童同士の相互理解が深まるような交流を図っている。	○インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で児童を支援する体制の整備を推進している。
				○学びに困難を抱える児童への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○アセスメントに基づき指導目標を明確化し、担任・担当間で積極的に授業改善を行うとともに、児童の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援をしている。	○アセスメントに基づき指導目標を明確化し、担任・担当間で積極的に授業改善を行うとともに、児童の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援をしている。	○児童一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法、称賞・承認の方法等について、若手教員に助言している。
D	「わかった」「できた」を育む生活支援力	児童生徒理解・指導力	児童生徒理解・指導力	○将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	○特別な配慮や支援を必要とする児童を含む全ての児童の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	○特別な配慮や支援を必要とする児童を含む全ての児童の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	○個別支援や、ポジティブ行動支援の実践について、全教職員で指導の効果を確認し、児童の成長を共に喜び合う機会を計画的に設定している。
				○児童の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じ、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	○児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じ、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	○これまでの実践や経験をもちに、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につなげる助言をしている。
				○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変化に関する教育データを活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補完的・分析的な指導・支援をしている。	○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変化に関する教育データを活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補完的・分析的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言をしている。
				○学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な活用について教職員に提案している。

キャリアステージ		採用時に本県が求める力	〈第1ステージ〉 基礎形成期	仲長・充実期	〈第2ステージ〉 深化・発展期	〈第3ステージ〉 熟達期	
資質・能力		養成期	○教育的愛情と熟意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		
	A 使命感・倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○社会人としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		
	B 識見 学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		
	C 社会性・コミュニケーション力	○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくることに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。		
	D 学校組織マネジメント力	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たすようとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループと連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	○学校教育目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。	
	E 連携・協働力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携、協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○地域の教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	
F 危機管理能力	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。		
授業力・学習指導	A カリキュラム・マネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○学校教育目標を踏まえ、生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。	○学校教育目標を踏まえ、各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特徴を生かしたカリキュラムを提案している。	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。		
	B 授業構想力	○生徒の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○生徒の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付け、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。	○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言をしている。		
	C 授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法、評価方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に努めている。	○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法、評価方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に努めている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術、指導方法、評価方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた授業を積極的に示したり、学校全体の授業力向上を働きかけたりしている。		

素養		ICTの活用		特別な配慮・支援		担任力・生徒指導	
特別な配慮・支援	D 授業省察力・改善力	A 児童生徒理解・指導力	B 集団づくり力	C 課題解決力	D 未来ビジョン育成力	○生徒の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導・支援をしている。	○学びの質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。
						○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。
						○生徒理解の意義や、生徒の心身の発達過程・特徴について理解している。	○生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。
						○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○学年・年齢集団等様々な集団活動について、よりよい集団に高め、集団相互の関わりを活性化させるとともに、若手教員に助言をしている。
素養	D 授業省察力・改善力	A 児童生徒理解・指導力	B 集団づくり力	C 課題解決力	D 未来ビジョン育成力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○学校の教育活動全体を通じて、グローカルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。
						○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○発達段階に応じて、グローカルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。
						○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点がから校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。
						○関係する校務分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で生徒を支援する体制の整備を推進している。
ICTの活用	C [わかった]「できた」を育む学習支援力	D [わかった]「できた」を育む生活支援力	A ICTを学習指導に活用する力	B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	C [わかった]「できた」を育む学習支援力	○学びに困難を抱える生徒への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○生徒一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法、称賞・承認の方法等について、若手教員に助言している。
						○将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	○個別支援や、ポジティブ行動支援の実践について、全教職員で指導の効果を確認し、生徒の成長を共に喜び合う機会を計画的に設定している。
						○生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○これまでの実践や経験をもちに、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につなげる助言をしている。
						○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの上についての研究に努め、助言をしている。
ICTの活用	B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	C [わかった]「できた」を育む学習支援力	D [わかった]「できた」を育む生活支援力	A ICTを学習指導に活用する力	B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学級事務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な活用について教職員に提案している。
						○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な業務遂行に努めている。
						○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じ、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	○これまでの実践や経験をもちに、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につなげる助言をしている。
						○特別な配慮や支援を必要とする生徒を含む全ての生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	○個別支援や、ポジティブ行動支援の実践について、全教職員で指導の効果を確認し、生徒の成長を共に喜び合う機会を計画的に設定している。

【高等学校・中等教育学校（後期課程）教諭用】

令和5年度改訂

キャリアステージ		採用時に本県が求める力	〈第1ステージ〉 基礎形成期	〈第2ステージ〉 伸長・充実期	〈第3ステージ〉 熟達期
資質・能力		養成期			
		○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。			
	A 使命感・倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	○家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。
	B 識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言をしている。
	C 社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学生・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言をしている。
	D 学校組織マネジメント力	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○スクール・ミッションやスクール・ポリシーを理解し、業務についての報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。
資質・能力	E 連携・協働力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
	F 危機管理能力	○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○地域の教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。
		○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。
		○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
		○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
		○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食育・食物アレルギー対応等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
授業力・学習指導	A カリキュラム・マネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○学校教育目標を踏まえつつ、生徒の実態に応じ、作成の意図を考えたながら、学校のカリキュラムを活用している。	○学校教育目標を踏まえ、各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特徴を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。
	B 授業構想力	○生徒の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を分析しながら、学習指導案を作成している。	○生徒の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。	○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組む工夫のある授業を構想している。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言をしている。
		○基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向けて、発問・指示・説明・板書・生徒とのやり取り・最新のICT等の指導技術を身に付け、活用している。	○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法、評価方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成にあたる。	○幅広い情報を基に自分の指導技術、指導方法や評価方法を更新しつつ、新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、学校全体の授業力向上を働きかけたりしている。
	C 授業実践力	○生徒の習得状況に応じた指導・支援の方法を理解している。	○生徒の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導・支援をしている。	○学びの質や長期的な姿勢にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による質的な学習の深まりを把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。

特別な配慮・支援		ICTの活用		担任力・生徒指導		
D	授業省察力・改善力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。	○学校の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。	
	児童生徒理解・指導力	○生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるような意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。	
		B 集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、ホームルーム経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○ホームルームをはじめ、生徒会や部活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○様々な集団活動について、よりよい集団に高め、集団相互の関わりを活性化させるとともに、若手教員に助言をしている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。
		C 課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう動きかけている。
		D 未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、生徒が勤労観・職業観を確立するとともに、自立した生活、社会における自己の役割についての認識を深め、社会を形成する一員として主体的に行動できるよう指導している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、社会的な自立に向けて、家庭・地域・企業・関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう助言するとともに、家庭・地域・企業・関係機関等と連携した指導・支援を推進している。
	A 個に応じた指導・支援力	○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の観点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	○個々の生徒に対する合理的配慮の実施について助言したり、障がい者理解の促進について、家庭や地域への発信に努めたりしている。	
B	チームによる実践	○関係する校内分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○関係する校内分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○校内委員会等で情報共有を行ったり、外部の専門家や関係機関と連携したりして、ケース会議等を実施している。	○インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で生徒を支援する体制の整備を推進している。	
	E 多様性に基づく学習支援力	○学びに困難を抱える生徒への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○他の教職員と協働し、生徒の学習上のつまずきに対する配慮や支援、教材づくりに積極的に取り組み、意欲的・主体的に学ぶ授業づくりを行っている。	○個々の生徒への合理的配慮に基づき、板書やプリントの工夫、作業的な内容の取り入れ、学習環境の配慮等を実施し、達成感や達成感につなげる支援をしている。	○個々の生徒に対する学習指導上の合理的配慮の実施について、若手教員に助言している。	
	F 多様性に基づく生活支援力	○将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	○生徒が安心して生活できるように、教室環境の整備やホームルーム内ルールの明確化を図るとともに、コミュニケーションスキルの向上や感情のコントロール等に関する指導を行っている。	○特別な配慮や支援を必要とする生徒の二次的な問題は、周りの環境に起因していることを理解し、生徒の自尊感情に配慮しながら、早期に適切な対応を行っている。	○卒業後の自立と社会参加を目指した指導・支援の充実を図るため、社会生活や就労への適応力向上のための取組を組織的に展開している。	
	ICTを学習指導に活用する力	○生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的に取り入れた授業を構想している。	○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じて、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	○これまでの実践や経験をもとに、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につながる助言をしている。	
		A ICTを学習指導に活用する力	○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学級事務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用している。	○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補完的・発展的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言をしている。
		B ICTを効果的な業務の遂行に活用する力	○学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学級事務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補完的・発展的な指導・支援をしている。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な活用について教職員に提案している。

【特別支援学校教諭】

令和5年度改訂

資質・能力	キャリアステージ		採用時に本県が求める力		基盤形成期		〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉	
	養成期		養成期		基盤形成期		伸長・充実期		深化・発展期		熟達期	
A 使命感・倫理観	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。		○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。		○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。		○使命感と教職への誇り、たくましく精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		○使命感と教職への誇り、たくましく精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		○使命感と教職への誇り、たくましく精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	
	○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○社会や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		○社会や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		○社会や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	
	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	
	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。		○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。		○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	
	○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○幼児児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくることにも、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。		○幼児児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくることにも、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。		○幼児児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくることにも、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	
	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○グループの強みと弱みを分析した上で、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。		○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。		○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	
B 学校組織マネジメント力	○業務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○業務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○業務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○業務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。		○業務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。		○業務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	
	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。		○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。		○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	
	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となりして事故等の未然防止に向けて行動している。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となりして事故等の未然防止に向けて行動している。	
	○学校教育目標を踏まえつつ、幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。		○学校教育目標を踏まえつつ、幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。		○学校教育目標を踏まえつつ、幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。		○学校教育目標を踏まえ、幼児児童生徒の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。		○学校教育目標を踏まえ、各学年間の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。		○学校教育目標を踏まえ、各学年間の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。	
	○アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、ICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた日々の保育・授業（以下、授業と表記。）を構想している。		○アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、ICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた日々の保育・授業（以下、授業と表記。）を構想している。		○アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、ICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた日々の保育・授業（以下、授業と表記。）を構想している。		○学びの質や長期的な変容に目を向け、幼児児童生徒一人一人の習得状況を把握するとともに、新しい指導技術・指導方法・評価方法を積極的に取り入れ、適切に補充的・発展的な指導・支援をしている。		○学びの質や長期的な変容に目を向け、幼児児童生徒一人一人の習得状況を把握するとともに、新しい指導技術・指導方法・評価方法を積極的に取り入れ、適切に補充的・発展的な指導・支援をしている。		○学びの質や長期的な変容に目を向け、幼児児童生徒一人一人の習得状況を把握するとともに、新しい指導技術・指導方法・評価方法を積極的に取り入れ、適切に補充的・発展的な指導・支援をしている。	
	○各授業において目標設定や指導内容・方法を考え、個々の幼児児童生徒の実態に即した教材・教員の活用による適切な指導・支援をしている。		○各授業において目標設定や指導内容・方法を考え、個々の幼児児童生徒の実態に即した教材・教員の活用による適切な指導・支援をしている。		○各授業において目標設定や指導内容・方法を考え、個々の幼児児童生徒の実態に即した教材・教員の活用による適切な指導・支援をしている。		○担任と幼児児童生徒に関わる教員間で指導の効果を確認しながら授業改善を行うとともに、幼児児童生徒の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援を行っている。		○担任と幼児児童生徒に関わる教員間で指導の効果を確認しながら授業改善を行うとともに、幼児児童生徒の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援を行っている。		○担任と幼児児童生徒に関わる教員間で指導の効果を確認しながら授業改善を行うとともに、幼児児童生徒の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援を行っている。	
C 授業実践力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。		○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。		○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。		○授業の目標に沿った具体的な学習成果の記録や自己評価を行い、授業改善を行っている。		○授業の目標に沿った具体的な学習成果の記録や自己評価を行い、授業改善を行っている。		○授業の目標に沿った具体的な学習成果の記録や自己評価を行い、授業改善を行っている。	
	○幼児児童生徒理解の意義や心身の発達過程・特徴について理解している。		○幼児児童生徒理解の意義や心身の発達過程・特徴について理解している。		○幼児児童生徒理解の意義や心身の発達過程・特徴について理解している。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	
	○特別支援教育の理念、動向、関連する基礎的な用語を理解している。		○特別支援教育の理念、動向、関連する基礎的な用語を理解している。		○特別支援教育の理念、動向、関連する基礎的な用語を理解している。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	
	○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	
	○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	
	○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	

特別支援の充実		ICTの活用		素養	
担任力・生徒指導		ICTの活用		素養	
B	集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○内容により学級、学年、学部で行うもの、他の学部と合同で行うもの等の集団構成を行い、幼児児童生徒同士のコミュニケーションを構築し、自発的なコミュニケーションが増えるような集団づくりに積極的に取り組むとともに、若手教員に助言をしている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。
C	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組むとしている。	○他の教職員や専門家のアドバイスを受けながら、特別支援教育の最新の知見に基づいた指導方法や指導技術を身に付けている。	○幼児児童生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防にに取り組んでいる。	○学校が直面する様々な課題を把握し、その解決のために、個別的な支援や、ポジティブ行動支援の実践等、組織的できめ細やかな指導・支援を学校全体で取り組むように推進している。
D	未来ビジョン育成力	○将来の社会参加と自立の視点に基づき、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○個別の教育支援計画や個別の指導計画にキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点から、目標を設定し、一人一人の社会的・職業的自立の目標達成に向け、日々の指導・支援をしている。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、就労支援機関、企業、福祉施設、関係機関等との連携を図りながら、卒業後の社会的・職業的自立やQOLの向上を目指してあらゆる教育活動に取り組んでいる。	○学校の教育活動全体を通じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、就労支援機関、企業、福祉施設、関係機関等との連携を図りながら、卒業後の社会的・職業的自立やQOLの向上を目指してあらゆる教育活動に取り組んでいる。
E	目標の明確化・実態把握力	○幼児児童生徒の実態把握の必要性を認識し、指導目標を明確にしようとしている。	○個々に応じたアセスメントにより、幼児児童生徒一人一人の障がい特性を知り、特に配慮を必要とする様々な状態を理解している。	○各種発達心理検査、一般職業適性検査結果の活用や、課題分析等の客観的な根拠に基づいた実態把握に取り組む、指導目標を明確にしている。	○障がい特性理解を深めるための効果的な研修の方策を理解し、教職員に研修を促したり、助言をしたりしている。
F	チームによる組織力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、チームで協力して解決する必要性を理解している。	○医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が安心・安全な学校生活を送るために、養護教諭や学校看護師と連携し、給食における指導や医療的ケア等に取り組んでいる。	○外部専門家のコンサルテーションを受けながら、問題行動をはじめとする個別の課題への対応や解決について、チームで積極的に取り組んでいる。	○学校が直面する様々な課題を把握し、その解決のために、組織的できめ細やかな指導・支援を関係機関や学校全体で1つのチームとして、取り組むように推進している。
G	センター的機能の推進力	○特別支援学校のセンター的機能の役割を理解している。	○自校におけるセンター的機能について、校内組織や活動内容を理解し、先輩教員とともに、地域の学校への理解・啓発に取り組んでいる。	○特別支援学校の有する自立活動の指導のノウハウ等を活かし、地域の園・小・中・高等学校等の特別な支援を必要とする幼児児童生徒に応じた適切な指導・支援について助言するとともに、関係機関との連携強化に取り組んでいる。	○特別支援教育における高い専門性を持つ後進の育成を推進するとともに、自校のセンター的機能が有効に発揮されるために、校内の組織体制の機能強化に取り組んでいる。
H	地域貢献力	○特別支援学校が取り組んでいる、家庭や地域、企業等と連携・協働した実践について知っている。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○地域の教育資源についての情報を把握し、「早期からのキャリア教育」「エシカル消費教育」「教職連携」「SDGs」等の取組において活用を図っている。	○多様性を認め合う「ダイバーシティとくしま」の実現を目指した地域と一体化した取組を推進している。
A	ICTを学習指導に活用する力	○幼児児童生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○幼児児童生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的に取り入れた授業を構想している。	○幼児児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じ、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を他の教職員と協働し実践するとともに、様々な支援機器についての知識を高めている。	○単元・題材の開発や授業構想に関する専門性に加え、ICTの適切かつ効果的な実践・研究を生かした授業改善についての助言をしている。
B	ICTを効果的な業務の遂行に活用する力	○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補完的・発展的な指導・支援をしたり、幼児児童生徒の成長や発達に応じて、きめ細やかに機器の調整を行ったりしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努めるとともに、一人一人に応じた利活用について助言をしている。
					○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効果的な利活用について教職員に提案している。

[養護教諭用]

キャリアステージ		採用時に本県が求める力	〈第1ステージ〉 基礎形成期	〈第2ステージ〉 伸長・充実期	〈第3ステージ〉 熟達期
専門的職務実践力・学習指導	A 使命感・倫理観 B 識見・学び続ける力 C 社会性・コミュニケーション力 D 学校組織マネジメント E 連携・協働力 F 危機管理能力	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。
		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。
		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。
		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。
		○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。
		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・調整を適切に行いながら、日々、PDCAサイクルを活用したりしながらか、組織を活性化させている。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。
A 保健管理 B 保健教育 C 健康相談 D 保健室経営 E 保健組織活動	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理能力の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理能力の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向けて行動している。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向けて行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	○学校保健安全法を理解し、児童生徒の実態把握の方法や基本的な保健管理の方法について知識と基礎的な技能を身に付けている。	○児童生徒の心身の実態を把握し、保健管理及び感染症の予防と対策、学校環境衛生活動を適切に行っている。	○保健情報を総合的に評価し、学校全体の実態を捉え、健康課題の解決に向けて校内の中心となつて予防的措置を講じている。	○保健情報を総合的に評価し、学校全体の実態を捉え、健康課題の解決に向けて校内の中心となつて予防的措置を講じている。	○校内の教職員や近隣の学校の養護教諭と連携し、保健管理について指導的役割を果たすとともに、組織的に健康課題の解決を図っている。
	○学習指導要領を踏まえ、養護教諭の専門性を生かして、保健教育を実践しようとしている。	○学級担任等と連携し、ICT等を効果的に活用しながら、養護教諭の専門性を生かして、個や集団を対象に保健教育を実践している。	○養護教諭の専門性を發揮し、児童生徒の発現した保健教育を実施し、指導と評価の一体化を図るとともに、ICT等を効果的に用いて、家庭・地域へ広めている。	○養護教諭の専門性を發揮し、児童生徒の発現した保健教育を実施し、指導と評価の一体化を図るとともに、ICT等を効果的に用いて、家庭・地域へ広めている。	○社会状況の変化と実態に応じた全体計画の立案に積極的に関与し、組織的な実践・評価を通して、改善を図っている。
	○学校保健安全法による健康相談の位置付けを理解し、心身の発達段階における健康課題に対する基本的な支援の方法を身に付けている。	○健康相談の基本的なプロセスを理解し、児童生徒の心身の発達段階の課題や現代的な健康課題との関連を踏まええた健康相談を実施している。	○心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めるとともに、学校医等の専門職や保護者と組織的に連携し、児童生徒に応じた支援方法を検討・評価しながら対応している。	○心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めるとともに、学校医等の専門職や保護者と組織的に連携し、児童生徒に応じた支援方法を検討・評価しながら対応している。	○個々の健康課題から全体の課題を捉え、教職員の意識を高めるとともに、支援体制づくりに参画している。
	○養護教諭の職務や役割、保健室の機能について理解し、保健室経営に取り組もうとしている。	○学校教育目標を踏まえ、保健室の役割等を理解し、保健室経営計画に沿った実践・評価をしている。	○学校教育目標を踏まえ、最新の健康情報を得るとともに、工夫改善を図り、校内の健康教育のセンター的役割を果たしている。	○学校教育目標を踏まえ、最新の健康情報を得るとともに、工夫改善を図り、校内の健康教育のセンター的役割を果たしている。	○学校教育目標を踏まえ、近隣の養護教諭や関係機関等との連携を密にするとともに、地域のリーダー的役割を果たし、保健室経営を効果的に実践している。
	○保健組織活動の意義と学校保健に関する学校内外の協力体制の重要性を理解している。	○保健組織活動が効果的に実践できよう内容の工夫改善を図るとともに、学校全体の健康課題の解決に向けて連携を推進している。また、保健組織活動について教職員や若手養護教諭に対して助言をしている。	○保健組織活動が効果的に実践できよう内容の工夫改善を図るとともに、学校全体の健康課題の解決に向けて連携を推進している。また、保健組織活動について教職員や若手養護教諭に対して助言をしている。	○保健組織活動が効果的に実践できよう内容の工夫改善を図るとともに、学校全体の健康課題の解決に向けて連携を推進している。また、保健組織活動について教職員や若手養護教諭に対して助言をしている。	○近隣の学校や関係機関と連携しながら地域の実情に応じた保健組織活動を推進している。

特別な配慮・支援		ICTの活用		素養	
担任力・生徒指導	A 児童生徒理解・指導力	○児童生徒理解の意義や、児童生徒の心身の発達過程・特徴について理解している。	○児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。
	B 集団づくり力	○集団づくりの意義や集団づくりの基本的な指導方法を理解している。	○学級担任等と連携しながら、学級集団をはじめ、児童会・生徒会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動の指導に積極的に関わり、よりよい集団に高める。	○学校全体の集団づくりの取組を視野的に、活性化させるための具体的方策を提案している。
	C 課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○児童生徒の心身の健康課題を早期に発見し、保護者、他の教職員等と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○児童生徒の心身の健康問題を早期に発見し、疾患の予防等の課題解決に向け、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題に対し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。
	D 未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じてめつつ、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるような指導をし自覚を促している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。
ICTを活用する力	A 個別に応じた指導・支援力	○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人・保護者のニーズを踏まえ、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	○児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の観点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	○個々の児童生徒に対する合理的配慮の実施について助言したり、障がい者理解の促進について、家庭や地域への発信に努めたりしている。
	B チームによる実践	○関係する校務分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しながら、指導・支援に取り組んでいる。	○校内委員会等で情報共有を行ったり、外部の専門家や関係機関と連携したりして、ケース会議等を実施している。	○インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で児童生徒を支援する体制の整備を推進している。
	C 「わかった」「できた」を育む学習支援力	○学びに困難を抱える児童生徒への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○他の教職員と協働し、児童生徒の学習上のつまづきに対する配慮や支援、教材づくりに積極的に取り組む、意欲的・主体的に学ぶ授業づくりを行っている。	○アセスメントに基づき指導目標を明確化し、担任・担当間で積極的に授業改善を行うとともに、児童生徒の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援をしている。	○児童生徒一人一人の美態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法、評価・承認の方法等について、若手教員に助言している。
	D 「わかった」「できた」を育む生活支援力	○将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	○児童生徒が見通しをもって学校生活を送れるように、保健室環境の整備や保健室内ルールの明確化を図るとともに、コミュニケーションスキル向上等に関する指導を行っている。	○特別な配慮や支援を必要とする児童生徒を含む全ての児童生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	○個別支援や、ポジティブ行動支援の実践について、全教職員で指導の効果を確認し、児童生徒の成長を共に喜び合う機会を計画的に設定している。
ICTを活用する力	A ICTを学習指導に活用する力	○児童生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的に取り入れた授業を構想している。	○児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じて、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	○これまでの実践や経験をもち、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につながる助言をしている。
	B ICTを効果的な業務の遂行に活用する力	○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学校保健に関する業務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用している。	○学級担任等と連携し、最新の知見に基づきICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補足的・発展的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言をしている。
		○学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用して効率的に業務を遂行している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な利用について教職員に提案している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な利用について教職員に提案している。

【栄養教諭用】

令和5年度改訂

キャリアステージ		採用時に本県が求める力	養成期	〈第1ステージ〉 基礎形成期	伸長・充実期	〈第2ステージ〉	〈第3ステージ〉 熟達期				
A 使命感・倫理観	B 識見・学び続ける力	C 社会性・コミュニケーション力	D 学校組織マネジメント力	E 連携・協働力	F 危機管理能力	G 個別的不相談指導	H 学校給食の管理	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。
								○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。
								○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。
								○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。
								○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。
F 教科等における教育指導	G 個別的不相談指導	H 学校給食の管理	I 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	J 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	K 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	L 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	M 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応・衛生管理等をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応・衛生管理等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応・衛生管理等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
								○学習指導要領における食育の位置付けと、食育全体計画作成時の栄養教諭の役割を理解している。	○ICT等を効果的に活用し、食に関する指導の学習指導案作成や教材研究を行っている。	○学校教育目標を踏まえ、児童生徒の実態に応じた食育全体計画を作成し、学習指導等と連携しながら、給食時間の指導及び教材等における食に関する授業に、ICT等を効果的に活用し、参画している。	○食育がより効果的に行われるよう、高い専門性を生かし、助言をしている。
								○児童生徒の食生活の現状を認識し、個に応じた相談指導の重要性を理解している。	○学校給食法を理解し、安全安心な学校給食管理を実践しようとしている。	○地域や「徳島ならではの」の創意工夫のある献立や社会的課題に対応した献立を作成している。また、喫食状況の把握から適切な栄養管理を行うとともに、教職員への情報提供や助言をしている。	○個別的不相談指導の実践に際し、隣の栄養教諭や栄養教諭未配置校の教職員等に対し、経験に基づいた助言をしている。
								○学校給食に必要な調理技術を身に付けている。	○学校給食衛生管理基準に基づき、関係機関と連携しながら適切な指導・助言及び管理を行っている。	○市町村の全学校給食施設において、安全安心な給食業務ができるように、近隣の栄養教諭等と連携しながら、マニュアルを作成したり助言したりしている。	○学校給食の運営管理に際し、各校や所属する市町村において指導的役割を果たしている。
								○食に関する指導と学校給食の特質を理解し、それらを一体的なものとして実践しようとしている。	○食に関する指導と学校給食の特質を理解し、それらを一体的なものとして実践しようとしている。	○学校給食を「生きた教材」として活用したり、食に関する指導によって得られた知見や情報を給食管理に生かしたりすることで、両者を一体のものとして展開することにより、若手教員に助言をしている。	○食に関する指導と学校給食の管理の相乗効果が得られるように、教職員及び家庭、地域との連携を強化している。

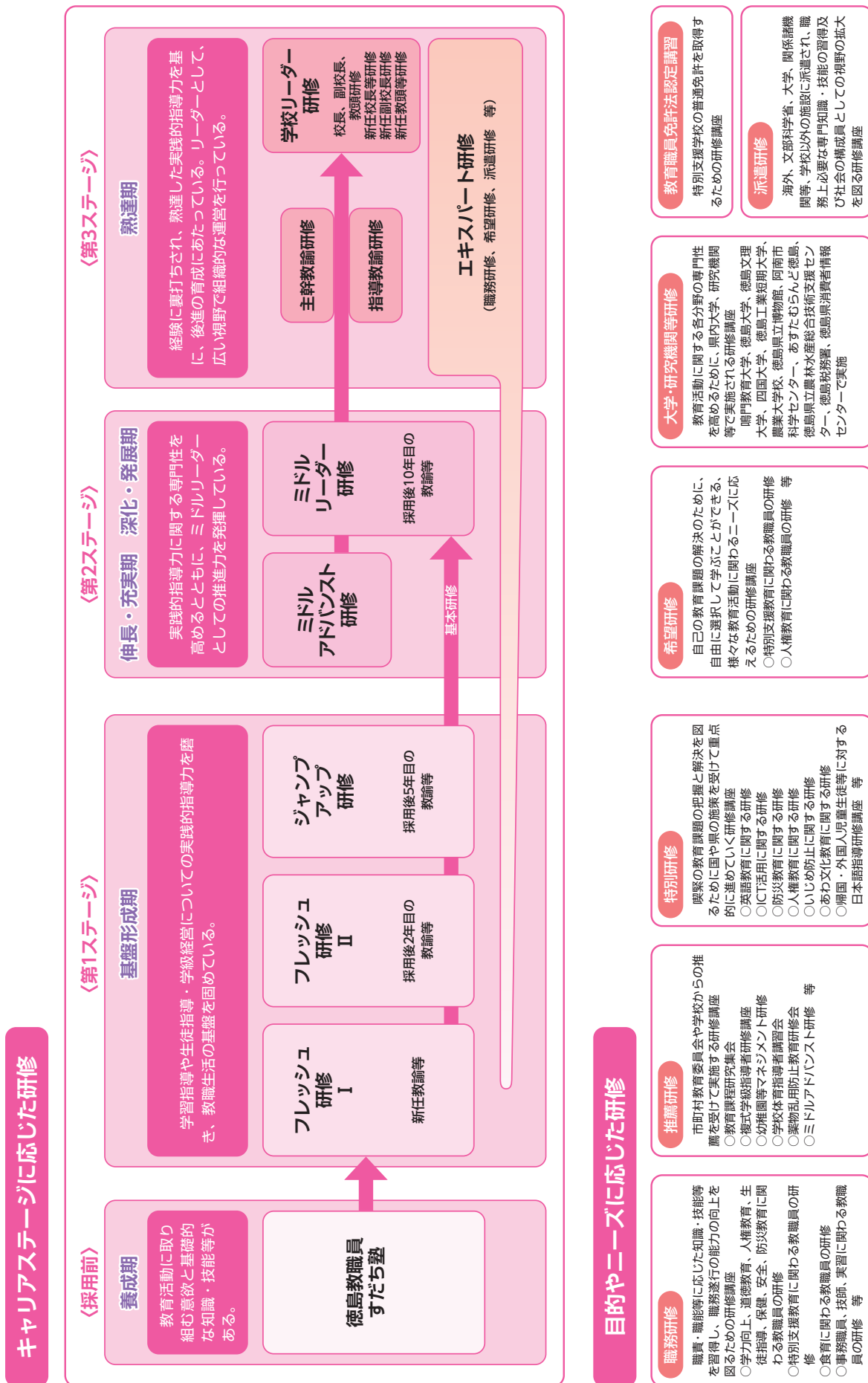
特別な配慮・支援		ICTの活用	
J A B C D	食育コーディネーターとしての連携・調整	食育を推進するための、学校内外の連携の方法や重要性を理解している。	食育コーディネーターとして、市町村学校食育推進委員会の運営に関わっている。
	児童生徒理解・指導力	児童生徒理解の意義や、児童生徒の心身の発達過程・特徴について理解している。	児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。
	集団づくり力	集団づくりの意義や集団づくりの基本的な指導方法を理解している。	学年担任等と連携しながら、集団づくりの経営方針に沿ってよりよい集団に育てるために指導・支援をしている。
	課題解決力	学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	様々な課題に気づき、児童生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。
A B C D	未来ビジョン育成力	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点と学習の場を設定し、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解でき、自ら指導し、自覚を促している。
	個に応じた指導・支援力	特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人・保護者のニーズを踏まえ、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。
	チームによる実践	関係する校内分掌（特別支援教育（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	保護者や特別支援教育コーディネーター、指導・支援に取り組んでいる。
	「わかった」「できた」を育む学習支援力	学びに困難を抱える児童生徒への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	他の教職員と協働し、児童生徒の学習上のつまづきに対する配慮や支援、教材づくりに積極的に取り組み、意欲的・主体的に学ぶ授業づくりを行っている。
A B	「わかった」「できた」を育む生活支援力	将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	児童生徒が見通しをもって学校生活を過ごせるように、環境の整備や支離の明確化を図るとともに、コミュニケーションスキル向上等に関する指導を行っている。
	ICTを学習指導に活用する力	児童生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、食に関する指導の学習指導案を作成している。	児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的な取り組みに授業や給食時間の指導を構想している。
	ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	育成を目指す資質・能力の定着に向け、積極的にICTを活用した食に関する指導を実践するとともに、蓄積した教育データを学習評価につなげている。
		栄養管理や衛生管理に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、献立作成や発注業務、諸帳簿整備等に必要なアプリケーションや学校業務支援システム、その他のクラウドサービス等を活用している。

【管理職用】

令和5年度改訂

資質・能力		職 位	教 頭	副校長	校 長
素 養	A	使 命 感・責 任 感	○校長を補佐する自覚をもち、校務全般を把握するとともに、それらが円滑に機能するよう、責任感をもって自分の役割を果たしている。	○学校の最高責任者としての覚悟をもち、法令等に基づいて適正な学校経営を行い、よりよい児童生徒の育成に使命感をもって取り組んでいる。	
	B	倫 理 観	○法令を遵守し、鋭い人権感覚のもと、誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、教職員に対してもコンプライアンスに関する的確な指導をしている。	○鋭い人権感覚と規範意識に基づき、職務を遂行するとともに、教育公務員としての職責や義務を教職員に示している。	
	C	リーダーシップ・決断力	○組織のリーダーとしての自覚をもち、的確で迅速な判断と指示を行い、校務を遂行している。	○豊かな人間性と経験に裏打ちされた高い識見に基づき、冷静に状況を見極めて最終決断をしている。	
	D	先 見 性・ 識 見	○最新の情報を収集し、学校に対する社会の要請を自覚し、情報を基に適切な判断をしている。	○学校を取り巻く状況を把握し、児童生徒の将来を見通した学校経営ビジョンの形成に生かしている。	
	E	社会性・人間関係構築力	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等との関係性を高め、協働的な関係を築いている。	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等と広く関わり、信頼関係を築いている。	
学 校 マ ネ ジ ャ ン ト 力	A	企 画 経 営 力	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の理念を理解し、校長の指導のもと、具体目標の立案やその実現に向けた方策を提案している。 ○常に新しいものを取り入れたり創り出したりするチャレンジ精神をもち、教育を取り巻く社会の変化に対応した企画力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、学校や地域の実態を踏まえたカリキュラムマネジメントを推進するために、教職員に指導・助言し、学校全体で取り組む体制づくりをしている。 ○学校評価等の結果を分析し、PDCAサイクルに基づいて教育活動の改善を提案・実践している。	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の趣旨を生かした中・長期的な経営ビジョンを明確にし、時代の潮流を見据えて学校経営方針を策定している。 ○国の動向や県の教育施策を熟知し、新たな教育環境を生み出す企画経営力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、具体的目標や重点目標を掲げ、家庭や地域を巻き込んだカリキュラムマネジメントを確立している。 ○学校の教育活動や学校経営の課題を的確に把握するための計画的な評価改善に努め、新たな企画に生かしている。	
	B	組 織 づ くり 力	○組織の全体像を把握するとともに、学校教育目標に沿った体制整備をしている。 ○組織運営に関わる外部・内部環境を把握し、学校の強みを見出している。 ○教員評価を実施し、その結果を基に一人一人の持つ能力を積極的に引き出すとともに、教職員の自己有用感を高め、「チーム学校」を活性化している。	○学校教育目標の実現のために、多面的な視点から組織を統括している。 ○組織全体を俯瞰し、学校の強みを生かした組織づくりを行っている。 ○学校の教育活動が効率よく最大の効果があげられるように、教員評価の結果を生かし、「チーム学校」を牽引している。	
	C	危 機 管 理 力	○災害や想定外の事態の発生に備え、最新の情報を収集し、訓練を工夫・実践するとともに、危機管理マニュアルを絶えず見直し、発生時には迅速に対応している。 ○学校運営上必要な校内人事・施設・事務（財務・文書等）を管理している。 ○学校環境の安全を絶えず点検し、課題について適切に対応している。	○災害や想定外の事態の発生に備え、危機管理体制を確立し、発生時には状況を見通し、的確な指示を出している。 ○学校経営上必要な所属職員の管理・監督を行い、施設・事務（財務・文書等）の管理状況を掌握している。	
	D	学 校 資 源 整 備・活 用 力	○教育予算を把握し、施設の適切な管理や予算運用をしている。 ○外部との様々な調整の実務担当者として、国・県の動向や地域の実態をいち早く把握し、実情に応じて学校資源を整備・活用している。	○学校資源を把握し、教育予算等を有効活用する中で、組織の持続・成長の方策を打ち出している。 ○学校、地域の人的・物的資源を正確に把握し、地域の状況に応じて、学校資源活用の方針を策定している。	
	E	人 材 育 成 力	○経験を生かし、キャリアステージに応じた教職員の育成のために、客観的データ等に基づいて的確に指導・助言している。 ○人材発掘に努め、常に意図的・計画的に中核教員を育成している。 ○校長の指示のもと、教職員の資質・能力向上のための体制づくりに積極的に関わっている。	○教職員一人一人の資質・能力や実績を適切に把握し、人材活用に生かすとともに、それぞれに応じた受講奨励をしている。 ○それぞれの職務の立場から、教員のキャリアステージに応じた力量形成ができるよう指示をしている。 ○意図的・計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた学校リーダーを育成している。	
	F	連 携・ 交 渉 力	○家庭、地域や関係機関等と連携し、情報を共有しながら、協働活動やコミュニティ・スクール運営に取り組んでいる。 ○家庭や地域との連携において、教職員を支援している。	○家庭、地域や関係機関等との協働活動やコミュニティ・スクールを積極的に推進し、地域に根ざした学校づくりを行っている。 ○教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整・折衝を行いながら学校の課題解決につなげている。	
	G	職 場 環 境 づ くり 力	○教職員のICT等を活用した長時間労働解消やメンタルヘルスの保持増進に率先して取り組んでいる。 ○教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進するとともに、課題の解決や合意形成が協働的に行われるようにしている。	○ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、ICT等を積極的に活用した職場環境における課題の解決を図り、効率がよく働きやすい職場づくりをしている。 ○教職員間の関係性に配慮し、互いに信頼し、認め合う風通しのよい職場づくりを行っている。	
	H	特 別 支 援 教 育 推 進 力	○合理的配慮について理解し、インクルーシブ教育システムの充実に取り組んでいる。 ○特別支援教育の研修や校内OJTを推進し、計画的に教職員を育成している。 ○校内支援委員会を組織し、定期的に開催するなど、校内支援体制の構築に取り組んでいる。	○特別支援教育の理念を理解し、学校教育目標や学校評価に、特別支援教育についての目標や方策を位置づけるとともに、評価・改善を行っている。 ○適切な人材配置と、計画的な人材育成を行っている。 ○リーダーシップを発揮しつつ、校内支援体制を確立させ、組織として十分機能するよう教職員を指導している。	

5 とくしま教員育成指標を踏まえた研修体系



6 受講のしくみ

各研修講座の受講のしくみについて説明しています。システム申込みの欄の○印は、各自で「全国教員研修プラットフォーム：Plant（プラント）」（以下、Plantという。）を利用して申し込む研修講座です。Plantによる申込みは5月から可能になります。4月中に開催される研修については、研修担当者が申込み登録を行います。Ⅰ～Ⅶ、Ⅹの各研修の概要は16ページの研修体系図を参照してください。Ⅷ、Ⅸについては30ページを参照してください。

各研修名	受講のしくみ	Plantによる申込み
Ⅰ 基本研修	○受講者に案内が通知されます。5月以降の申込みが必要な研修については、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。諸事情で受講が不可能な場合や該当者で通知がない場合は、管理職が研修担当者まで申し出てください。	○*
Ⅱ 職務研修	○受講該当者に案内が通知されます。その後、5月以降の研修については、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。	○*
Ⅲ 推薦研修	○各都市や各校・園ごとに研修講座を受講する人数枠があり、校長会等で通知します。 ○各都市や各校・園で受講者を決定して、各担当が取りまとめて報告してください。その後、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。	○
	○「ミドルアドバンスト研修」については、小学校・中学校教諭等は市町村教育長、高等学校・特別支援学校教諭等は校長の推薦により受講者が決定されます。その後、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。	○
Ⅳ 特別研修	○「教師が変わる！心が動く！外国語授業アップグレード研修」「小学校外国語専科教員研修会」については、各都市や各校ごとに研修講座を受講する人数枠があるため、校長会等で通知します。各都市や各校で受講者を決定して、各担当が取りまとめて報告してください。その後、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。	○
	○「帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座」については、受講者に案内が通知されます。その後、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。また、日本語教育に関心のある教職員が申し込むことも可能です。	○
	○「地域防災人材育成講座（防災スキルアップ研修）」については、小学校・中学校教諭等は校長を通して市町村教育委員会に、県立学校教諭等は校長に申し出てください。受講決定者に案内が通知されます。その後、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。	○
	○上記以外の研修講座については、各校・園又は受講者に案内が通知されます。その後、 <u>受講者がPlantから申し込んでください</u> 。	○
Ⅴ 希望研修	○参加を希望される研修講座については、Plantから申し込んでください。ただし、「教育支援委員会調査員研修講座」については、Plantによる申込みは必要ありません。	○
Ⅵ 教育職員免許法認定講習	○各学校に送付された案内文書に添付された所定の用紙で申し込んでください。Plantによる申込みは必要ありません。	—
Ⅶ 大学・研究機関等研修	○講座名等は、「大学・研究機関等研修予定表」を御覧ください。詳細は、Plantまたは総合教育センター Web サイトの実施要項で御確認いただき、 <u>Plantから申し込んでください</u> 。	○
Ⅷ 自主研修	○「カリキュラム・カフェ」の詳細は、総合教育センター Web サイトに掲載の実施要項で御確認いただき、Web サイト上（登録フォーム）から申し込んでください。	—
Ⅸ 受託研修	○実施希望日の3週間前までに教育DX推進課までお問い合わせください。	—
Ⅹ 派遣研修	○受講者に案内が通知されます。Plantによる申込みは必要ありません。	—

※Plantによる申込みは5月から可能になります。4月中に開催される研修については、研修担当者が申込み登録を行います。

7 各研修講座表の見方

- ・対象校種の「幼」は幼稚園（幼稚園型認定こども園も含む）及び幼保連携型認定こども園、「小」は小学校、「中」は中学校・中等教育学校（前期課程）、「高」は高等学校・中等教育学校（後期課程）、「特」は特別支援学校を示しています。
- ・対象職種等の「教諭等」、「教職員」は、それぞれ次の職種を表しています。

	対象となる職種
教諭等	校長、園長、副校長、副園長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、保育教諭、実習主任、実習助手、講師、養護助教諭、常勤講師
教職員	校長、園長、副校長、副園長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、保育教諭、実習主任、実習助手、講師、養護助教諭、常勤講師、学校・園事務職員、寄宿舎指導員、期限付寄宿舎指導員、学校栄養職員、学校司書、学校技師等

- ・各研修講座の詳しい内容等の問合せや欠席(遅刻・早退)の届については、それぞれの研修講座のうち背景が □ の研修講座は、総合教育センターに、背景が □ の研修講座は、備考欄の徳島県教育委員会各課に御連絡ください。
- ・各研修講座を申し込む前には、必ず当該研修講座の実施要項を確認してください。実施要項は、Plantと総合教育センターWebサイトで閲覧できます。（31ページ参照）
- ・備考欄の M マークがついている研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。
- ・大学・研究機関等研修、自主研修、受託研修の備考欄の「免外可」は、免許外教科担当者にも知識・技能の習得のため積極的な受講を勧めている研修講座です。
- ・幼稚園等の受講希望者は、管理職員の承認を得た上で、徳島県教育委員会義務教育課幼児教育担当にメール（gimukyoku1@g.tokushima-ec.ed.jp）またはファクシミリ（088-621-2882）で申し込んでください。受講の可否については、後日お知らせします。
- ・非常勤講師（県立学校）で受講を希望される方は、管理職に相談してください。

8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス

キャリアステージ			採用時	〈第1ステージ〉					〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉				管理職					
				基盤形成期					伸長・ 充実期	深化・ 発展期	熟達期				教頭・副校長・校長					
資質・能力			養成期																	
研 修 講 座			す だ ち 教 員	徳 島 教 員 研 修 Ⅰ	フ レ ッ シ ユ (養護教諭 研修Ⅰ)	フ レ ッ シ ユ (栄養教諭 研修Ⅰ)	研 修 Ⅱ	研 修 Ⅲ	ミ ニ バ ン ド 研 修 ル ー ム	研 修 Ⅳ	指 導 教 諭 研 修	主 幹 教 諭 研 修	主 幹 教 諭 研 修 (令和 年度より 主幹教諭 として 任用された 者)	学 校 リ ー ダ ー 研 修	新 任 教 頭 等					
															新 任 教 頭 等	新 任 副 校 長	新 任 校 長 等	校 長、副 校 長、教 頭 小・中・高・特		
											1年目	2年目以降	1年目	2年目	任用1年目	任用2年目				
1	素 養	A 使命感・倫理観	○	○	○	○			○	○	○									
		B 識見・学び続ける力		○	○	○	○	○	○	○										
		C 社会性・コミュニケーション力	○	○	○	○	○		○	○										
		D 学校組織マネジメント力		○	○	○			○	○										
		E 連携・協働力		○	○	○			○	○	○	○								
		F 危機管理能力		○	○	○			○	○										
2	授業力・学習指導	A カリキュラム・マネジメント力(小・中・高・特)		○							○	○								
		B 授業構想力(小・中・高・特)		○			○			○	○									
		C 授業実践力(小・中・高・特)		○			○	○		○										
		D 授業省察力・改善力(小・中・高・特)		○			○	○		○										
	専門的職務実践力・学習指導	A 保健管理(養)			○															
		B 保健教育(養)					○	○		○										
		C 健康相談(養)					○			○										
		D 保健室経営(養)					○			○										
		E 保健組織活動(養)			○					○										
		F 教科等における教育指導(栄)				○	○	○		○										
		G 個別的な相談指導(栄)				○				○										
		H 学校給食の管理(栄)				○	○			○										
		I 食に関する指導と学校給食の 管理の一体的な展開(栄)				○	○			○										
		J 食育コーディネーター としての連携・調整(栄)				○				○										
3	担任力・生徒指導	A 児童生徒理解・指導力(小・中・高・養・栄) 幼児児童生徒理解・指導力(特)		○	○	○	○			○										
		B 集団づくり力	○	○	○	○				△										
		C 課題解決力		○	○	○				○										
		D 未来ビジョン育成力		○	○	○	○			△										
		E 目標の明確化・実態把握力(特)		○			○			○										
		F チームによる組織力(特)		○																
4	特別な配慮・支援 特別養育	A 個に応じた指導・支援力(小・中・高・養・栄)		○	○	○	○			○	○									
		B チームによる実践(小・中・高・養・栄)		○	○	○				○										
		C 「わかった」「できた」を育む 学習支援力(小・中・養・栄)		○	○	○				○										
		D 「わかった」「できた」を育む 生活支援力(小・中・養・栄)		○	○	○														
		E 多様性に基づく学習支援力(高)		○						○										
		F 多様性に基づく生活支援力(高)		○																
		G センター的機能の推進力(特)		○			○													
		H 地域貢献力(特)		○																
5	その他の 習得	A ICTを学習指導に活用する力		○	○	○	○	○		○	○									
		B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力		○	○	○					○									
素 養 学 校 マ ネ ジ メ ン ト 力	A 使命感・責任感 B 倫理観 C リーダーシップ・決断力 D 先見性・識見 E 社会性・人間関係構築力											○	○	○			○	○		
													○	○						
													○	○						
													○	○						
													○	○	○					
	A 企画経営力 B 組織づくり力 C 危機管理能力 D 学校資源整備・活用力 E 人材育成力 F 連携・交渉力 G 職場環境づくり力 H 特別支援教育推進力												○	○	○	○				△
													○	○	○	○			○	△
													○	○			○			△
													○	○						△
											○	○	○	○		○				△
													○	○						△
													○	○						△
													○	○	○					△

○…………研修講座のねらいとする資質・能力の項目として、重点的に学ぶことができるよう位置付けている。

△…………選択することにより、学ぶことができるよう位置付けている。

空欄…………OJTと関連して資質・能力の育成を図る。

9 研修講座の紹介

① 「5つの柱」別研修講座

各研修講座のねらいとする資質・能力を、「5つの柱」で分類したものです。一つの研修講座で複数の資質・能力をねらいとしているため、資質・能力別に複数回研修講座が記載されています。

○……研修講座のねらいとする資質・能力の項目として、重点的に学ぶことができるよう位置付けている。

△……選択することにより、学ぶことができるよう位置付けている。

教諭用

1 素 養

A 使命感・倫理観 B 識見・学び続ける力 C 社会性・コミュニケーション力 D 学校組織マネジメント力
E 連携・協働力 F 危機管理能力

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 III 推薦研修 V 希望研修	II 職務研修 IV 特別研修
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I-1
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	I-2
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（養護教諭）	P25	I-12
	○	○				フレッシュ研修Ⅱ	P25	I-3
	○					ジャンプアップ研修	P25	I-4
○	○	○	○	○	○	ミドルリーダー研修	P25	I-5
○	○	○	○	○	○	ミドルリーダー研修（栄養教諭）	P25	I-6
○	○	○	○	○	○	ミドルリーダー研修（養護教諭）	P25	I-13
○				○		指導教諭研修（1年目）	P25	II-4
				○		指導教諭研修（2年目以降）	P25	II-4
○						栄養教諭・学校栄養職員研修会	P26	II-5
○				○		通級による指導担当者研修会（1年目）	P26	II-7
	○			○		通級による指導担当者研修会（2年目）	P26	II-7
				○		通級による指導担当者研修会（3年目以上）	P26	II-7
○	○	○		○		特別支援教育巡回相談員研修会	P26	II-8
○		○				特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	II-9
		○				特別支援教育コーディネーター研修会（3年目以上）	P26	II-10
○		○		○		特別支援学級担任者研修会（弱視・難聴・肢体不自由・病弱・身体虚弱、言語障がい）	P26	II-11
	○	○				特別支援学級担任者研修会（2年目）（知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級）	P26	II-12
○	○	○		○	○	新規採用特別支援学校寄宿舎指導員研修会	P26	II-14
○						特別支援学校寄宿舎指導員研修会	P26	II-15
○	○	○		○	○	新規採用実習助手研修	P26	II-20
○	○					実習主任・実習助手研修	P26	II-21
○		○				教育相談コーディネーター研修会	P26	II-22
○					○	県立学校ネットワーク担当者研修会	P27	II-24
			○			学力向上推進員研修会（小・中）	P27	II-26
			○			学力向上推進員研修会（特）	P27	II-26
			○			公立高等学校等及び特別支援学校道徳教育推進教師研修会	P27	II-32
○		○				人権教育主事研修会	P27	II-33
				○		熱中症講習会	P27	II-37
				○		スポーツ施設等安全管理講習会	P27	II-38
				○		学校防災研修会	P27	II-39
			○			養護教諭・保健主事研修会	P27	II-40
				○		学校保健・安全研修会	P27	II-41
				○		学校食育推進研修会	P27	II-42
				○		学校安全教室並びに学校安全教育指導者研修会	P27	II-43
					○	学校防災BCP研修	P27	II-45
○	○	○	○	○	○	ミドルアドバンス研修	P28	III-1
	○					徳島県特別支援学校教育課程研究集会	P28	III-2
○						複式学級指導者研修講座	P28	III-3
					○	水泳指導者講習会	P28	III-10
					○	薬物乱用防止教育研修会	P28	III-12
					○	徳島県学校給食衛生管理推進研修会	P28	IV-3
	○					徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28	IV-4
					○	情報モラル教育研修会	P28	IV-5
		○		○		“あわ”じんけん講座（指導力充実講座）	P28	IV-8
○				○		チーム学校いじめ防止スキルアップ研修（BPプロジェクト徳島大会）	P28	IV-9
				○		あわ文化教育研修	P28	IV-10
		○		○		帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	IV-11
				○		地域防災人材育成講座（防災教育スキルアップ研修）	P28	IV-12
				○		ESD～身近な「食」をテーマに考えよう～	P29	V-1
		○				第1回特別支援教育アドバンスセミナー「発達障害のある子どもの保護者支援」	P29	V-4
○	○					教育支援委員会調査員研修講座	P29	V-7
				○		徳島県幼稚園等教育課程研究集会（午前中）	P29	V-8
				○		徳島県幼稚園等教育課程研究集会（終日）	P29	V-9
		○				“あわ”じんけん講座（希望研修）	P29	V-10

2 授業力・学習指導

A カリキュラム・マネジメント力 (小・中・高・特) B 授業構想力 (小・中・高・特)
C 授業実践力 (小・中・高・特) D 授業省察力・改善力 (小・中・高・特)

A	B	C	D	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I-1
	○	○	○	フレッシュ研修Ⅱ	P25	I-3
		○	○	ジャンプアップ研修	P25	I-4
	○	○	○	ミドルリーダー研修	P25	I-5
○	○			指導教諭研修 (1年目)	P25	Ⅱ-4
○				指導教諭研修 (2年目以降)	P25	Ⅱ-4
	○	○		通級による指導担当者研修会 (1年目)	P26	Ⅱ-7
	○	○		通級による指導担当者研修会 (2年目)	P26	Ⅱ-7
		○		通級による指導担当者研修会 (3年目)	P26	Ⅱ-7
	○	○		特別支援教育巡回相談員研修会	P26	Ⅱ-8
	○	○		特別支援学級担任者研修会 (新担任者)	P26	Ⅱ-9
	○	○		特別支援教育コーディネーター研修会 (3年以上)	P26	Ⅱ-10
	○	○	○	特別支援学級担任者研修会 (弱視・難聴・肢体不自由・病弱・身体虚弱、言語障がい)	P26	Ⅱ-11
	○	○		特別支援学級担任者研修会 (2年目) (知的障がい学級・自閉症・情緒障がい学級)	P26	Ⅱ-12
		○		新規採用特別支援学校寄宿舎指導員研修会	P26	Ⅱ-14
		○		訪問教育担当教員研修会	P26	Ⅱ-16
		○		実習主任・実習助手研修	P26	Ⅱ-21
○	○	○	○	学力向上推進員研修会 (小・中)	P27	Ⅱ-26
○	○	○	○	学力向上推進員研修会 (高)	P27	Ⅱ-26
○			○	学力向上推進員研修会 (特)	P27	Ⅱ-26
	○	○	○	小学校国語科・算数科授業づくり研修会	P27	Ⅱ-27
	○	○	○	中学校国語科授業づくり研修会	P27	Ⅱ-28
	○	○	○	中学校数学科授業づくり研修会	P27	Ⅱ-29
	○	○	○	中学校理科授業づくり研修会	P27	Ⅱ-30
○	○	○		道徳教育推進研修会 (小・特 (小学部))	P27	Ⅱ-31
○	○	○		道徳教育推進研修会 (中・特 (中学部))	P27	Ⅱ-31
○	○	○		公立高等学校等及び特別支援学校道徳教育推進教師研修会	P27	Ⅱ-32
		○		人権教育主事研修会	P27	Ⅱ-33
	○	○		小学校体育科研修会	P27	Ⅱ-44
○				徳島県特別支援学校教育課程研究集会	P28	Ⅲ-2
	○	○		複式学級指導者研修講座	P28	Ⅲ-3
○	○	○	○	徳島県小学校教育課程研究集会	P28	Ⅲ-5
○	○	○	○	徳島県中学校教育課程研究集会	P28	Ⅲ-6
○	○	○	○	徳島県高等学校教育課程研究集会	P28	Ⅲ-7
	○	○		水泳指導者講習会	P28	Ⅲ-10
	○	○		学校体育指導者講習会	P28	Ⅲ-11
	○	○		教師が変わる！心が動く！外国語授業アップグレード研修	P28	Ⅳ-1
	○	○		小学校外国語専科教員研修会	P28	Ⅳ-2
○	○	○		徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28	Ⅳ-4
○				情報モラル教育研修会	P28	Ⅳ-5
	○	○	○	教科情報スキルアップ研修	P28	Ⅳ-6
		○		“あわ” じんけん講座 (指導力充実講座)	P28	Ⅳ-8
○				あわ文化教育研修	P28	Ⅳ-10
		○		第2回特別支援教育アドバンスセミナー「障がい重い子どもにおける教科の授業づくり」	P29	V-5
	○	○		第3回特別支援教育アドバンスセミナー「教室の中の視覚支援～わかる、できる、伝えられる、ように～」	P29	V-6
○				徳島県幼稚園等教育課程研究集会 (午前中)	P29	V-8
○				徳島県幼稚園等教育課程研究集会 (終日)	P29	V-9
	○	○		“あわ” じんけん講座 (希望研修)	P29	V-10

専門的職務実践力・学習指導 (養護教諭)

A 保健管理 B 保健教育 C 健康相談 D 保健室経営
E 保健組織活動

A	B	C	D	E	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○				○	フレッシュ研修Ⅰ (養護教諭)	P25	I-12
	○	○	○		フレッシュ研修Ⅱ (養護教諭)	P25	I-3
	○				ジャンプアップ研修 (養護教諭)	P25	I-4
	○		○	○	ミドルリーダー研修 (養護教諭)	P25	I-13
○	○				養護教諭・保健主事研修会	P27	Ⅱ-40
○	○				学校保健・安全研修会	P27	Ⅱ-41
○	○				徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」研修講座	P28	Ⅳ-7

専門的職務実践力・学習指導（栄養教諭）

F 教科等における教育指導 G 個別的な相談指導 H 学校給食の管理 I 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開
J 食育コーディネーターとしての連携・調整

F	G	H	I	J	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	I-2
○		○	○		フレッシュ研修Ⅱ（栄養教諭）	P25	I-3
○					ジャンプアップ研修（栄養教諭）	P25	I-4
○	○	○	○	○	ミドルリーダー研修（栄養教諭）	P25	I-6
○	○	○	○		栄養教諭・学校栄養職員研修会	P26	Ⅱ-5
○				○	食育コーディネーター研修会	P26	Ⅱ-6
		○			徳島県学校給食衛生管理推進研修会	P28	Ⅳ-3
○		○			ESD～身近な「食」をテーマに考えよう～	P29	V-1

3 担任力・生徒指導

A 児童生徒理解・指導力（小・中・高・養・栄） 幼児児童生徒理解・指導力（特） B 集団づくり力
C 課題解決力 D 未来ビジョン育成力 E 目標の明確化・実践把握力（特） F チームによる組織力（特）

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I-1
○	○	○	○			フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	I-2
○	○	○	○			フレッシュ研修Ⅰ（養護教諭）	P25	I-12
○			○	○		フレッシュ研修Ⅱ	P25	I-3
○	△	○	△	○		ミドルリーダー研修	P25	I-5
○	△	○	△	○		ミドルリーダー研修（栄養教諭）	P25	I-6
○	△	○	△	○		ミドルリーダー研修（養護教諭）	P25	I-13
○		○				通級による指導担当者研修会（1年目）	P26	Ⅱ-7
○		○				通級による指導担当者研修会（2年目）	P26	Ⅱ-7
○		○				通級による指導担当者研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ-7
○						特別支援教育巡回相談員研修会	P26	Ⅱ-8
○						特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	Ⅱ-9
○		○				特別支援教育コーディネーター研修会（1年目）	P26	Ⅱ-10
○		○				特別支援教育コーディネーター研修会（2年目）	P26	Ⅱ-10
○						特別支援学級担任者研修会（弱視、難聴、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障がい）	P26	Ⅱ-11
○						特別支援学級担任者研修会（2年目）（知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級）	P26	Ⅱ-12
○						特別支援教育地域別事例検討研修会（知3年目以上）	P26	Ⅱ-13
○				○		新規採用特別支援学校寄宿舎指導員研修会	P26	Ⅱ-14
○			○			特別支援学校寄宿舎指導員研修会	P26	Ⅱ-15
		○			○	訪問教育担当教員研修会	P26	Ⅱ-16
○						実習主任・実習助手研修	P26	Ⅱ-21
○		○				教育相談コーディネーター研修会	P26	Ⅱ-22
○		○				小中学校生徒指導主任研修会	P27	Ⅱ-34
○		○				中学校生徒指導主事研修会	P27	Ⅱ-35
○		○				公立高等学校及び特別支援学校生徒指導主事研修会	P27	Ⅱ-36
		○				徳島県学校給食衛生管理推進研修会	P28	Ⅳ-3
○		○				チーム学校いじめ防止スキルアップ研修（BPプロジェクト徳島大会）	P28	Ⅳ-9
○		○				帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	Ⅳ-11
		○				ESD～身近な「食」をテーマに考えよう～	P29	V-1
○		○				学校カウンセリングゼミナールⅠ「思春期のこころとカウンセリング技法の理解」	P29	V-2
○		○				学校カウンセリングゼミナールⅡ「思春期のこころ（依存症）とからだの理解」	P29	V-3
○						教育支援委員会調査員研修講座	P29	V-7

4 特別な配慮・支援 特別支援の充実

A 個に応じた指導・支援力（小・中・高・養・栄） B チームによる実践（小・中・高・養・栄） C 「わかった」「できた」を育む学習支援力（小・中・養・栄）
D 「わかった」「できた」を育む生活支援力（小・中・養・栄） E 多様性に基づく学習支援力（高） F 多様性に基づく生活支援力（高）
G センターの機能の推進力（特） H 地域貢献力（特）

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I-1
○	○	○	○					フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	I-2
○	○	○	○					フレッシュ研修Ⅰ（養護教諭）	P25	I-12
○						○		フレッシュ研修Ⅱ	P25	I-3
○		○		○				ミドルリーダー研修	P25	I-5
○	○							指導教諭研修（1年目）	P25	Ⅱ-4
○	○							通級による指導担当者研修会（1年目）	P26	Ⅱ-7
○	○							通級による指導担当者研修会（2年目）	P26	Ⅱ-7
○	○							通級による指導担当者研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ-7
○	○	○	○	○	○	○		特別支援教育巡回相談員研修会	P26	Ⅱ-8
○	○	○	○	○	○			特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	Ⅱ-9
○			○	○				特別支援教育コーディネーター研修会（1年目）	P26	Ⅱ-10
	○							特別支援教育コーディネーター研修会（2年目）	P26	Ⅱ-10

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅴ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○			特別支援教育コーディネーター研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－10
○		○	○	○	○			特別支援学級担任者研修会（弱視・難聴・肢体不自由・病弱・身体虚弱、言語障がい）	P26	Ⅱ－11
○	○	○	○	○	○			特別支援学級担任者研修会（2年目）（知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級）	P26	Ⅱ－12
○		○						特別支援教育地域別事例検討研修会（知情3年目以上）	P26	Ⅱ－13
○	○				○			教育相談コーディネーター研修会	P26	Ⅱ－22
○								学校カウンセリングゼミナールⅠ「思春期のこころとカウンセリング技法の理解」	P29	Ⅴ－2
○								学校カウンセリングゼミナールⅡ「思春期のこころ（依存症）とからだの理解」	P29	Ⅴ－3
	○							第1回特別支援教育アドバンスセミナー「発達障がいのある子どもの保護者支援」	P29	Ⅴ－4
		○		○				第2回特別支援教育アドバンスセミナー「障がい重い子どもにおける教科の授業づくり」	P29	Ⅴ－5
○		○	○	○	○			第3回特別支援教育アドバンスセミナー「教室の中の視覚支援～わかる、できる、伝えられる、ように～」	P29	Ⅴ－6
○								教育支援委員会調査員研修講座	P29	Ⅴ－7

5 ICTの利活用

A ICTを学習指導に活用する力 B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力

A	B	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅴ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	Ⅰ－1
○	○	フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	Ⅰ－2
○	○	フレッシュ研修Ⅰ（養護教諭）	P25	Ⅰ－12
○		フレッシュ研修Ⅱ	P25	Ⅰ－3
○		ジャンプアップ研修	P25	Ⅰ－4
○		ミドルリーダー研修	P25	Ⅰ－5
○	○	指導教諭研修（1年目）	P25	Ⅱ－4
○		特別支援教育巡回相談員研修会	P26	Ⅱ－8
○		特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	Ⅱ－9
○		特別支援教育コーディネーター研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－10
○		特別支援学級担任者研修会（弱視・難聴・肢体不自由・病弱・身体虚弱、言語障がい）	P26	Ⅱ－11
○		特別支援学級担任者研修会（2年目）（知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級）	P26	Ⅱ－12
	○	実習主任・実習助手研修	P26	Ⅱ－21
	○	県立学校ネットワーク担当者研修会	P27	Ⅱ－24
○		徳島県特別支援学校教育課程研究集会	P28	Ⅲ－2
○	○	徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28	Ⅳ－4
○		情報モラル教育研修会	P28	Ⅳ－5
○	○	徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」研修講座	P28	Ⅳ－7
○		第3回特別支援教育アドバンスセミナー「教室の中の視覚支援～わかる、できる、伝えられる、ように～」	P29	Ⅴ－6

管理職用

素 養

A 使命感・責任感 B 倫理観 C リーダーシップ・決断力 D 先見性・識見 E 社会性・人間関係構築力

A	B	C	D	E	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅴ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
				○	主幹教諭研修（2年目以降）	P25	Ⅱ－2
○	○	○	○	○	主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）1年目	P25	Ⅱ－3
○	○	○	○	○	主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）2年目	P25	Ⅱ－3
○		○			学校リーダー研修（新任教頭等）任用1年目	P25	Ⅱ－1
○					学校リーダー研修（新任副校長）	P25	Ⅱ－1
○		○			学校リーダー研修（新任校長等）	P25	Ⅱ－1
			○	○	帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	Ⅳ－11

学校マネジメント力

A 企画経営力 B 組織づくり力 C 危機管理能力 D 学校資源整備・活用力 E 人材育成力
F 連携・交渉力 G 職場環境づくり力 H 特別支援教育推進力

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅴ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
	○			○				主幹教諭研修（2年目以降）	P25	Ⅱ－2
○	○	○	○	○	○	○	○	主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）1年目	P25	Ⅱ－3
○	○	○	○	○	○	○	○	主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）2年目	P25	Ⅱ－3
				○				指導教諭研修（2年目以降）	P25	Ⅱ－4
○	○			○	○	○	○	学校リーダー研修（新任教頭等）任用1年目	P25	Ⅱ－1
		○			○			学校リーダー研修（新任教頭等）任用2年目	P25	Ⅱ－1
○	○							学校リーダー研修（新任校長等）	P25	Ⅱ－1
△	△	△	△	△	△	△	△	学校リーダー研修（校長・副校長・教頭）小・中・高・特	P25	Ⅱ－1
		○						学校防災研修会	P27	Ⅱ－39
		○						学校安全教室並びに学校安全教育指導者研修会	P27	Ⅱ－43
		○						学校防災BCP研修	P27	Ⅱ－45
	○		○	○		○		徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28	Ⅳ－4
			○			○		徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」研修講座	P28	Ⅳ－7
	○				○			帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	Ⅳ－11
		○						地域防災人材育成講座（防災教育スキルアップ研修）	P28	Ⅳ－12

幼稚園等教諭用

1 素 養 A 使命感・倫理観 B 識見・学び続ける力 C 社会性・コミュニケーション力 D 学校組織マネジメント力 E 連携・協働力 F 危機管理能力

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25	Ⅰ－9
○	○					フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25	Ⅰ－10
○	○	○	○	○		ミドルリーダー研修（幼稚園教諭・保育教諭）	P25	Ⅰ－11
				○		徳島県幼稚園等教育課程研究会	P28	Ⅲ－4

2 保育力 A カリキュラム・マネジメント力 B 保育構想力 C 保育実践力 D 保育省察力・改善力

A	B	C	D	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25	Ⅰ－9
	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25	Ⅰ－10
○	○	○	○	ミドルリーダー研修（幼稚園教諭・保育教諭）	P25	Ⅰ－11
○			○	学力向上推進員研修会（幼・認可・特（幼稚部））	P27	Ⅱ－26
○				徳島県幼稚園等教育課程研究会	P28	Ⅲ－4
	○			保育技術研修会	P28	Ⅲ－8

3 担任力・援助力 A 幼児理解・指導力 B 集団づくり力 C 課題解決力 D 未来ビジョン育成力

A	B	C	D	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25	Ⅰ－9
○				フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25	Ⅰ－10
○				保育技術研修会	P28	Ⅲ－8

4 特別な配慮・支援 A 個に応じた指導・支援力 B チームによる実践力 C 「やってみたい」「やってよかった」を育む学習支援力

A	B	C	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25	Ⅰ－9
○	○		ミドルリーダー研修（幼稚園教諭・保育教諭）	P25	Ⅰ－11

5 ICTの利活用 A ICTを学習指導に活用する力

A	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25	Ⅰ－10

管理職（園長）用

素 養 A 使命感・責任感 B 倫理観 C リーダーシップ・決断力 D 先見性・識見 E 社会性・人間関係構築力

A	B	C	D	E	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○					幼稚園長等運営管理研修会	P27	Ⅱ－25
○					幼稚園等マネジメント研修	P28	Ⅲ－9

組織マネジメント力 A 企画経営力 B 組織づくり力 C 危機管理能力 D 学校資源整備・活用力 E 人材育成力 F 連携・交渉力 G 職場環境づくり力 H 特別支援教育推進力

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 V 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○					○			幼稚園長等運営管理研修会	P27	Ⅱ－25
	○						○	幼稚園等マネジメント研修	P28	Ⅲ－9

② 研修種別講座

連続性・発展性のある「キャリアステージに応じた研修」と、学習指導要領や喫緊の課題等に対応するための「目的やニーズに応じた研修」の2つを柱に、主体的に学び続け自己を高める教職員を支えるⅠ～Ⅷの多様な研修講座を開設します。

Ⅰ 基本研修 ※日数の欄の数は、「校外における研修」の日数です。研修期日は文書提出の期間を含みます。

【とくしま教員育成指標における資質・能力】については、19ページの「8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス」を参照してください。

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	研 修 期 日	日数	備 考
			目 的			
1	フレッシュ研修Ⅰ	小・中・高・特	新任教諭	令和7年4月～令和8年2月	12	
			新任教員に対して、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
2	フレッシュ研修Ⅰ (栄養教諭)	小・中・特	新任栄養教諭	令和7年4月～令和8年2月	10	
			新規採用栄養教諭に対して、教育公務員特例法第23条の規定に準じて、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
3	フレッシュ研修Ⅱ	小・中・高・特	採用後2年目の教諭・養護教諭・栄養教諭	令和7年5月～令和8年2月	教諭 5.5 養・栄 3.5	
			採用後2年目の教諭、養護教諭及び栄養教諭に対して、幅広い知見を得ることを通して、「授業力・学習指導」をはじめとする実践的指導力の向上を図る。			
4	ジャンプアップ研修	小・中・高・特	採用後5年目の教諭・養護教諭・栄養教諭	令和7年4月～令和8年1月	1	
			採用後5年目の教諭等が、広い視野からこれまでの教職経験を振り返り、それぞれの使命を自覚するとともに、教諭等に求められる資質及びICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力の向上と人的ネットワークの構築を図る。			
5	ミドルリーダー研修	小・中・高・特	採用後10年目の教諭	令和7年4月～令和8年2月	4.5	
			教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性等に応じて、教育活動その他の学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。			
6	ミドルリーダー研修 (栄養教諭)	小・中・特	採用後10年目の栄養教諭	令和7年4月～令和8年2月	4.5	
			教育公務員特例法第24条の規定に準じ、個々の能力、適性等に応じて教育活動その他の学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される栄養教諭としての職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。			
7	公立小・中学校新任事務職員研修	小・中	新任学校事務職員	令和7年4月～令和8年2月	7	
			学校事務職員の職務に関する基礎的事項について理解し、適正な職務の遂行力の向上を図る。			
8	公立小・中学校中堅事務職員研修	小・中	9年を終了した学校事務職員	令和7年10月24日（金）	1	
			9年を終了した学校事務職員に、幅広い視野と知識を付与するとともに、資質向上を図ることにより、中堅としての自覚を高め、職務の円滑な推進に資する。			
9	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	幼・認こ・特 (幼稚園部)	新任教諭・新任保育教諭	令和7年4月～令和8年1月	8	義務教育課
			幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、現職研修の一環として、その職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
10	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	幼・認こ・特 (幼稚園部)	新任教諭・新任保育教諭	令和7年4月～令和7年11月	2.5	義務教育課
			幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、現職研修の一環として、その職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
11	ミドルリーダー研修 (幼稚園教諭・保育教諭)	幼・認こ	採用後10年目の教諭・保育教諭	令和7年4月～令和7年12月	4.5	義務教育課
			教育公務員特例法第24条及び附則第6条の規定に基づき、個々の能力、適正等に応じて、教育活動その他の幼稚園等の運営において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職責を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。			
12	フレッシュ研修Ⅰ (養護教諭)	小・中・高・特	新任養護教諭	令和7年4月～令和8年2月	10	体育健康安全課
			新規採用の養護教諭に対して、教員としての基礎的教養を身に付けさせ、使命感と幅広い知見を得させるとともに、学校保健に関する専門的な知識・技能を習得させ、職務を適切に遂行することのできる資質の向上を図る。			
13	ミドルリーダー研修 (養護教諭)	小・中・高・特	採用後10年目の養護教諭	令和7年4月～令和8年2月	4.5	体育健康安全課
			近年の社会状況の変化に伴い、児童生徒の心身の健康問題は複雑・多様化している。養護教諭には、学校保健に関して校内や地域において指導的役割が期待されることから、ミドルリーダー研修を通して、より一層専門性を高めるとともに幅広い教養を身に付け、学校保健活動の中核的役割を果たせるよう資質の向上を図る。			

Ⅱ 職務研修

【とくしま教員育成指標における資質・能力】については、19ページの「8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス」を参照してください。

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	研 修 期 日	日数	備 考
1	学校リーダー研修	小・中・高・特	校長・副校長・教頭	令和7年6月13日（金）、6月20日（金）、6月25日（水）、7月4日（金）、7月11日（金）、9月10日（水）、9月16日（火）	0.5	選択制。6月13日（金）、6月20日（金）、6月25日（水）、9月10日（水）はオンライン研修。7月11日（金）は公立小・中学校事務グループリーダー・共同学校事務室長研修と合同開催。
		小・中・高・特	新任校長等	令和7年4月23日（水）	1	
		小・中・高・特	新任副校長	令和7年4月30日（水）～5月30日（金）	0.5	オンデマンド研修
		小・中・高・特	新任教頭等（任用1年目）	令和7年4月30日（水）～6月27日（金） 令和7年5月30日（金）、12月8日（月）	2	4月30日～6月27日はオンデマンド研修。5月30日、12月8日の会場は総合教育センター。
		小・中・高・特	新任教頭等（任用2年目）	令和7年6月23日（月）	0.5	会場は総合教育センター
2	主幹教諭研修	小・中	主幹教諭任用2年目以降	令和7年12月1日（月）	0.5	指導教諭研修（任用2年目以降）と合同開催 会場は総合教育センター
3	主幹教諭研修 (令和2年度より主幹教諭として任用された者)	小・中・高・特	主幹教諭任用1年目	令和7年4月18日（金）、5月19日（月）、7月1日（火）、9月30日（火）、10月某日、11月12日（水）、12月10日（水）	7	会場は四国地区教職アライアンス鳴門教育大学センター
		小・中・高・特	主幹教諭任用2年目	令和7年5月16日（金）、6月6日（金）、7月15日（火）、8～10月、11月28日（金）、12月26日（金）	6	会場は四国地区教職アライアンス鳴門教育大学センター、第4回は選択した企業
4	指導教諭研修	小・中・高・特	指導教諭任用1年目	令和7年4月15日（火）、8月4日（月）、12月24日（水）	2.5	会場は四国地区教職アライアンス鳴門教育大学センター
			指導教諭任用2年目以降	令和7年12月1日（月）	0.5	主幹教諭研修（任用2年目以降）と合同開催 会場は総合教育センター

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等		【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
5	栄養教諭・学校栄養職員研修会	小・中・特	栄養教諭・学校栄養職員		素養 (A) / 専門 (F・G・H・I)	令和7年5月2日 (金)	0.5	
6	食育コーディネーター研修会	小・中	栄養教諭		専門 (F・J)	令和7年10月1日 (水)	0.5	
7	通級による指導担当者研修会	小・中	通級による指導担当者	1年目	素養 (A・E) / 特支 (A・B) / 担任力 (A・C) / 授業力 (B・C)	令和7年4月16日 (水)、5月16日 (金)、7月16日 (水)	2.5	4月16日 (1日)・5月16日 (1日)は両日とも集合研修 7月16日 (0.5日) はオンライン研修
				2年目	素養 (B・E) / 特支 (A・B) / 担任力 (A・C) / 授業力 (B・C)	令和7年5月16日 (金)、6月16日 (月)、7月16日 (水)	2	5月16日 (1日)・6月16日 (0.5日)は両日とも集合研修 7月16日 (0.5日) はオンライン研修
				3年目以上	素養 (E) / 特支 (A・B) / 担任力 (A・C) / 授業力 (C)	令和7年5月16日 (金)、7月16日 (水)	1.5	5月16日 (1日)は集合研修 7月16日 (0.5日) はオンライン研修
8	特別支援教育巡回相談員研修会	小・中・特	特別支援教育巡回相談員		(小・中学校教諭) 素養 (A・B・C・E) / 授業力 (B・C) / 特支 (A・B・C・D・E・F) / ICT (A) (特別支援学校教諭) 素養 (A・B・C・E) / 授業力 (B・C) / 担任力 (A) / 特支 (G) / ICT (A)	第1回: 令和7年4月15日 (火) 第2回: 令和7年7月23日 (水)、7月25日 (金)、8月1日 (金) のうち1回を選択 第3回: 令和7年9月9日 (火) 第4回: 令和8年1月6日 (火)	2 (5 年目 以上 1.5)	第1回、第3回、第4回は集合研修 第2回はオンライン研修で3回の内1回を選択 第3回は、担当1～4年目対象
9	特別支援学級担任者研修会 (新担任者)	小・中	特別支援学級新担任者		素養 (A) / 特支 (A・B・C・D・E・F) / 担任力 (A) / 授業力 (B・C) / ICT (A)	第1回 令和7年4月11日 (金) 第2回 令和7年5月13日 (火) 中学校 令和7年5月21日 (水) 小学校 第3回 令和7年5月～10月障がい種別 第4回 令和7年7月23日 (水)、7月25日 (金)、8月1日 (金) のうち1回を選択	3.5	第1回はオンライン研修 (0.5日) 動画視聴研修 (0.5日) 第2回 (1日) は集合研修 第3回 (1日) は障がい種別ごとに開催 第4回 (0.5日) はオンライン研修
10	特別支援教育コーディネーター研修会	幼・小・中・高・特	特別支援教育コーディネーター	1年目	(小・中・高等学校教諭) 担任力 (A・C) / 特支 (A・D) (特別支援学校教諭) 担任力 (A・C) / 特支 (E)	第1回 令和7年5月23日 (金) 第2回 令和7年9月8日 (月) もしくは9月18日 (木) いずれか1回	1	第1回はオンライン研修 第2回は集合研修 2日のうちいずれか1日を選択 第1回、第2回ともに0.5日
				2年目	担任力 (A・C) / 特支 (B)	第1回 令和7年6月6日 (金) 第2回 令和7年11月19日 (水) もしくは11月25日 (火) いずれか1回	1	第1回はオンライン研修 第2回は集合研修 2日のうちいずれか1日を選択 第1回、第2回ともに0.5日
				3年目以上	【講座1】 (小・中・高等学校教諭) 特支 (B) (特別支援学校教諭) 素養 (C) 【講座2】 (小・中学校教諭) 特支 (C) (高等学校教諭) 特支 (E) (特別支援学校教諭) 授業力 (C) 【講座3】 (小・中学校教諭) 特支 (A・C・D) / ICT (A) (高等学校教諭) 特支 (A・E・F) / ICT (A) (特別支援学校教諭) 授業力 (B・C) / ICT (A)	令和7年7月23日 (水)、7月25日 (金)、8月1日 (金) のいずれか1回を選択	0.5	3回のうち1回を選択 すべてオンライン研修 各回とも講座は0.5日
11	特別支援学級担任者研修会 (弱視学級、難聴学級、肢体不自由学級、病弱・身体虚弱学級、言語障がい学級)	小・中	弱視学級担任者	素養 (A・C・E) / 特支 (A・C・D・E・F) / 担任力 (A) / 授業力 (B・C・D) / ICT (A)	第1回 令和7年4月～5月上旬	2	第1回動画視聴研修 第2回は障がい種別ごとに開催 第3回はオンライン研修	
			難聴学級担任者		第2回 令和7年5月～6月	2		
			肢体不自由学級担任者		第3回 令和7年7月23日 (水)、7月25日 (金)、8月1日 (金) のうち1回を選択	2		
			病弱・身体虚弱学級担任者			2		
			言語障がい学級担任者			2		
12	特別支援学級担任者研修会 (2年目) (知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級)	小・中	経験2年目で知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級担任者	素養 (B・C) / 授業力 (B・C) / 担任力 (A) / 特支 (A・B・C・D・E・F) / ICT (A)	第1回 令和7年6月2日 (月) 第2回 令和7年7月23日 (水)、7月25日 (金)、8月1日 (金) のうち1回を選択 第3回 令和7年9月5日 (金) 小学校 9月26日 (金) 中学校 第4回 令和7年10月21日 (火) 小学校 令和7年10月7日 (火) 中学校	2	第1回・第2回はオンライン研修 第3回・第4回は校種別に集合研修 全て0.5日	
13	特別支援教育地域別事例検討研修会 (知情3年以上)	小・中	経験3年目以上で知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級担任者	担任力 (A) / 特支 (A・C)	令和7年7月～8月夏季休業中	0.5	グループ別、オンライン研修	
14	新規採用特別支援学校寄宿舎指導員研修会	特	新任特別支援学校寄宿舎指導員	素養 (A・B・C・E・F) / 授業力 (C) / 担任力 (A・F)	令和7年4月～令和8年1月	5	フレッシュ研修Ⅰの一部と合同開催	
15	特別支援学校寄宿舎指導員研修会	特	寄宿舎指導員	素養 (A) / 担任力 (A・D)	令和7年7月28日 (月)	0.5		
16	訪問教育担当教員研修会	特	訪問教育担当教員	授業力 (C) / 担任力 (C・F)	令和7年7月25日 (金)	0.5		
17	公立小・中学校事務グループリーダー・共同学校事務室長研修	小・中	事務グループリーダーまたは共同学校事務室のリーダーの指定を受けているもの			令和7年7月11日 (金)	0.5 1	新任事務グループリーダーは0.5日その他のグループリーダーは1日 学校リーダー研修と合同開催 (午後から)
18	公立小・中学校事務職員研修会	小・中	事務職員			令和7年5月15日 (木)	1	
19	県立学校技師等研修会	高・特	県立学校技師等			令和7年7月22日 (火)	0.5	オンライン研修
20	新規採用実習助手研修	高・特	新任実習助手		素養 (A・B・C・E・F)	令和7年4月～令和8年1月	2.5	
21	実習主任・実習助手研修	高・特	実習主任・実習助手		素養 (A・B) / 授 (C) / 担 (A) / ICT (B)	令和7年7月10日 (木)	1	0.5日はオンデマンド研修
22	教育相談コーディネーター研修会	小・中・高・特	教育相談コーディネーター		素養 (A・C) / 担任力 (A・C) / 特支 (A・B・F)	第1回 令和7年7月9日 (水) 第2回 令和7年12月10日 (水)	1	オンライン研修 第1回は担当1～2年目対象 (3年日以降は希望者) 第2回は全員対象

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備 考
23	県立学校事務転職員研修	高・特	県立学校に勤務する技能労務職から行政職に転職した者		令和7年7月から10月	1	教育政策課 オンライン研修を実施予定
24	県立学校ネットワーク担当者研修会	高・特・ 県中・中等	ネットワーク担当者	素養 (A・F) /ICT (B)	令和7年4月24日 (木)～ 25日 (金)	0.5	教育DX推進課 オンライン研修
25	幼稚園長等運営管理研修会	幼・認可	新任園長等	素養 (A) 組織マネジメント力 (A・F)	令和7年5月20日 (火)・午後 オンライン 令和7年6月30日 (月)・午後 会場未定	1	義務教育課
26	学力向上推進員研修会	幼・認可 特(幼稚園)	学力向上推進員	保育力 (A・D)	令和7年6月13日 (金)・午後 オンライン 令和8年1月6日 (火)・午後	1	義務教育課
		小・中	学力向上推進員	素養 (D) /授業力 (A・B・C・D)	令和7年6月24日 (火)	0.5	義務教育課
		高	学力向上推進員	授業力 (A・B・C・D)	令和7年6月6日 (金)	0.5	高校教育課
		特	学力向上推進員	素養 (D) /授業力 (A・D)	令和7年6月10日 (火)	0.25	オンライン研修
27	小学校国語科・算数科 授業づくり研修会	小	教諭等	授業力 (B・C・D)	北・東部 令和7年10月22日(水) 総合教育センター	0.5	義務教育課
					南部 令和7年10月24日(金) 阿南市文化会館		
					西部 令和7年10月29日(水) 県立西部防災館		
28	中学校国語科授業づくり研修会	中	教諭等	授業力 (B・C・D)	令和7年11月7日 (金)	0.5	義務教育課
29	中学校数学科授業づくり研修会	中	教諭等	授業力 (B・C・D)	令和7年11月11日 (火)	0.5	義務教育課
30	中学校理科授業づくり研修会	中	教諭等	授業力 (B・C・D)	令和7年11月12日 (水)	0.5	義務教育課
31	道徳教育推進研修会	小 特(小学部)	道徳教育推進教師等	授業力 (A・B・C)	令和7年9月30日 (火)	0.5	義務教育課 オンライン研修
		中 特(中学部)			令和7年9月26日 (金)		
32	公立高等学校等及び特別 支援学校道徳教育推進 教師研修会	高・特	道徳教育推進教師	素養 (D) /授業力 (A・B・C)	令和7年6月9日 (月)	0.5	高校教育課
33	人権教育主事研修会	小・中	人権教育主事	素養 (A・C) /授業力 (C)	第1回 令和7年5月16日(金) (オンライン)	0.5	人権教育課
					第2回 令和7年10月22日(水) 穴喰小 令和7年11月26日(水) 撫養小 令和7年11月28日(金) 大俣小 令和7年11月21日(金) 阿波中	0.5	
					第3回 令和8年1月14日(水)	0.5	
		高・特	人権教育主事	素養 (A・C) /授業力 (C)	第1回 令和7年5月16日(金) (オンライン)	0.5	
					第2回 令和7年11月12日(水) 穴吹高等学校	0.5	
					第3回 令和8年1月21日(水)	0.5	
34	小学校生徒指導主任研修会	小	生徒指導主任	担任力 (A・C)	令和7年5月28日 (水)	0.5	いじめ・不登校対策課
35	中学校生徒指導主事研修会	中	生徒指導主事	担任力 (A・C)	令和7年5月20日 (火)	0.5	いじめ・不登校対策課
36	公立高等学校及び特別 支援学校生徒指導主事 研修会	高・特	生徒指導主事	担任力 (A・C)	令和7年6月5日 (木)	0.5	いじめ・不登校対策課
37	熱中症講習会	小・中・高・特	教諭等	素養 (F)	令和7年5月12日 (月)	0.5	体育健康安全課 オンライン研修
38	スポーツ施設等安全管理講習会	小・中・高・特	教諭等	素養 (F)	令和7年5月19日 (月)～ 30日 (金)	0.5	体育健康安全課 オンデマンド研修
39	学校防災研修会	小・中・高・特	学校防災担当者	素養 (F) /学校マネジメント力 (C)	令和7年5月27日 (火)	0.5	体育健康安全課
40	養護教諭・保健主事研修会	小・中・高・特	養護教諭・保健主事	素養 (D) /専門 (A・B)	令和7年5月23日 (金)	1	体育健康安全課
41	学校保健・安全研修会	小・中・高・特	養護教諭	素養 (F) /専門 (A・B)	令和8年1月14日 (水)～28 日 (水) (オンデマンド) 令和8年1月23日 (金) (集合)	1	体育健康安全課 オンデマンド研修 (0.5 日)と集合研修 (0.5日) 両方参加で1日扱い
42	学校食育推進研修会	小・中・高・特	食育担当者	素養 (E)	令和8年1月28日 (水)	0.5	体育健康安全課 オンライン研修
43	学校安全教室並びに学校 安全教育指導者研修会	小・特	交通安全教育・生活安全 教育担当者	素養 (F) /学校マネジメント力 (C)	令和7年10月22日 (水)	0.5	体育健康安全課
44	小学校体育科研修会	小	教諭等	授業力 (B・C)	令和8年1月26日(月)・1月27日(火)	0.5	体育健康安全課
45	学校防災BCP研修	高	学校防災担当者	素養 (F) /学校マネジメント力 (C)	令和7年6月24日 (火)	0.5	体育健康安全課

※背景が の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

※幼稚園等の【とくしま教員育成指標における資質・能力】は、徳島県教育委員会学校教育課作成の「幼稚園教諭 教員育成指標モデル」「幼稚園等
管理職等 教員育成指標モデル」に拠ります。

Ⅲ 推薦研修

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
1	ミドルアドバンス研修	小・中・高・特	教諭等	素養(A・B・C・D・E・F)	第1回 令和7年6月27日(金) 第2回 令和7年12月12日(金)	2	小学校・中学校教諭等は市町村教育長の推薦による 高等学校・特別支援学校教諭等は校長の推薦による
2	徳島県特別支援学校教育課程研究会	特	教諭等	素養(B) / 授業力(A) / ICT(A)	令和7年7月30日(水)	0.5	M
3	複式学級指導者研修講座	小・中	教諭等	素養(A) / 授業力(B・C)	令和7年8月1日(金)	0.5	義務教育課 オンラインにより開催
4	徳島県幼稚園等教育課程研究会	幼・認可・保特(幼稚園部)	教諭等・保育士	素養(E) / 保育力(A)	令和7年7月25日(金)	1	義務教育課 M
5	徳島県小学校教育課程研究会	小	教諭等	授業力(A・B・C・D)	令和7年7月24日(木)又は7月25日(金)	0.5	義務教育課 M
6	徳島県中学校教育課程研究会	中	教諭等	授業力(A・B・C・D)	令和7年7月28日(月)又は7月29日(火)	0.5	義務教育課 M
7	徳島県高等学校教育課程研究会	高・特	教諭等	授業力(A・B・C・D)	令和7年7月31日(木)又は8月1日(金)	1	高校教育課 M
8	保育技術研修会	幼・認可・保特(幼稚園部)	教諭等・保育士	保育力(B) 担任力(A)	令和7年6月26日(木)	0.5	義務教育課 M
9	幼稚園等マネジメント研修	幼・認可・保特(幼稚園部)	教諭等・保育士	素養(A) / 組織マネジメント力(B・H)	令和7年8月4日(月)	1	義務教育課 M
10	水泳指導者講習会	小・中	採用後10年以内、または教職経験10年以内であり、今までに受講していない教諭等	素養(F) / 授業力(B・C)	令和7年6月3日(火) アサンスポーツクラブ	1	体育健康安全課 M
11	学校体育指導者講習会	小・中・高・特	教諭等	授業力(B・C)	令和7年7月30日(水) 鳴門・大塚スポーツパーク、アミナリビューホール等	1	体育健康安全課 M
12	薬物乱用防止教育研修会	小・中・高・特	教諭等	素養(F)	令和7年10月7日(火)	0.5	体育健康安全課 オンライン研修 M

Ⅳ 特別研修

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
1	教師が変わる!心が動く!外国語授業アップグレード研修	小 中 高・特	教諭等	授業力(B・C)	1回目 令和7年6月27日(金) 2時間 2回目 令和7年10月28日(火) 3時間 1回目 令和7年6月30日(月) 2時間 令和7年11月5日(水) 3時間 1回目 令和7年7月3日(木) 2時間 2回目 令和7年10月30日(木) 3時間	1 1 1	1回目はオンライン研修 2回目は集合研修 ※1回目・2回目、両方の研修に参加して、1日間の研修とする M
2	小学校外国語専科教員研修会	小	外国語の授業を担当している専科教員(授業交換等で担任学級以外の授業を担当している教員・講師も含む)	授業力(B・C)	1回目 令和7年7月28日(月) 1日 徳島JA会館 2回目 令和8年1月19日(月) 2時間	1.5	1回目は集合研修 2回目はオンライン研修
3	徳島県学校給食衛生管理推進研修会	小・中・特	教職員	素養(F) / 専門(H) / 担任力(C)	令和7年7月22日(火) 総合教育センター 令和7年7月29日(火) 南部会場 令和7年7月30日(水) 西部会場	0.5	3回のうち1回を指定
4	徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	小・中・高・特	管理職 教諭等	(管理職) 学校マネジメント力(B・D・E・G) (教諭) 素養(B) / 授業力(A・B・C) / ICT(A・B)	令和7年5月下旬から6月下旬	0.5	教育DX推進課 オンデマンド研修
5	情報モラル教育研修会	小	教諭等	素養(F) / 授業力(A) / ICT(A)	令和7年6月30日(月)	0.5	教育DX推進課 オンライン研修
6	教科情報スキルアップ研修	高・特	教諭等	授業力(B・C・D)	令和7年6月上旬～7月下旬 (指定の日)に0.5日を2回	1.0	教育DX推進課 オンライン研修
7	徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」研修講座	小・中	教諭等	(管理職) 学校マネジメント力(D・G) (教諭) ICT(A・B) (養護教諭) 専門(A・B)	①令和7年5月16日(金) 小中学校の管理職 ②令和7年4月18日(金) 小中学校の新任教頭及び希望する管理職 ※ 各小中学校で管理職1人以上が①か②を受講(悉皆)、新任教頭は②を受講 ③令和7年5月14日(水) 小中学校の新任教諭及び希望する小学校の教職員 ④令和7年5月19日(月) 中学校の新任教諭及び希望する中学校の教職員 ⑤令和7年4月14日(月) 小中学校の新任教諭養護教諭及び希望する養護教諭、養護助教諭	0.5	教育DX推進課 オンライン研修
8	“あわ”じんけん講座(指導力充実講座)	幼・小・中・高・特	教諭等 8年目	素養(C・E) / 授業力(C)	徳島県内(徳島・鳴門・阿南) 令和7年7月25日(金) 徳島県内(徳島・鳴門・阿南) 令和7年7月28日(月) 大阪コリアタウン 令和7年7月31日(木)	1	人権教育課
9	チーム学校いじめ防止スキルアップ研修(BPプロジェクト徳島大会)	小・中・高・特	教諭等	素養(A・E) / 担任力(A・C)	令和7年8月18日(月) 午後 (鳴門教育大学にて実施)	0.5	いじめ・不登校対策課
10	あわ文化教育研修	中	教諭等	素養(E) / 授業力(A)	令和7年7月7日(月)～8月29日(金)	0.5	義務教育課 オンデマンド研修
11	帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	小・中 小・中・高・特	新任教頭等 教職員	素養(D・E) / 学校マネジメント力(B・F) 素養(C・E) / 担任力(A・C)	令和7年7月2日(水) 午前 令和7年5月26日(月) 午後	0.5	義務教育課 オンライン研修 総合教育センター

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
12	地域防災人材育成講座 (防災教育スキルアップ研修)	小・中・高・特	教諭等	(教諭) 素養 (F) (管理職) 学校マネジメント力 (C)	令和7年7月30日 (水)	0.5	体育健康安全課

※備考欄の **M** マークのついている研修講座はミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

※背景が の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

※幼稚園等の【とくしま教員育成指標における資質・能力】は、徳島県教育委員会学校教育課作成の「幼稚園教諭 教員育成指標モデル」「幼稚園等管理職等 教員育成指標モデル」に拠ります。

V 希望研修

No	研 修 講 座 名			目 的 ・ 内 容 等	日数	備 考
	研 修 期 日	定 員	対象校種			
	研 修 場 所	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】			
1	ESD ～身近な「食」をテーマに考えよう～			ESDを食育の視点から考えましょう。令和7年度は、一日を通して「地場産物」をテーマに実施します。午前は、地場産物を使った調理にチャレンジします。午後は、地場産物やジビエに関する講義と演習を行います。 ※実習材料費が必要です。	1	M
	令和7年7月28日 (月)	16	小・中・高・特			
2	学校カウンセリングゼミナールⅠ 「思春期のこころとカウンセリング技法の理解」			教職員が児童生徒の不登校、いじめの背景にある精神疾患、心身症、依存症、発達障がい等に気付いて対応することは、子どもたちの大きな支えになります。お医者さんから聞く具体的な事例や解説から子どもの心身の状態を正しく理解し、それを基にして自尊心を低下させない教育相談的な対応について演習を通して学びます。	1	M
	令和7年7月23日 (水)	50	小・中・高・特			
3	学校カウンセリングゼミナールⅡ 「思春期のこころ (依存症) とからだの理解」			ネットやスマホ、ゲーム等の依存に陥っていたり、からだの問題から学習や生活に支障を来したりしている児童生徒がたくさんいます。こころとからだの両面から理解を深め、教員による教育相談的な対応の一助として学びます。	1	M
	令和7年7月31日 (木)	50	小・中・高・特			
4	第1回特別支援教育アドバンスセミナー 「発達障害のある子どもの保護者支援」			発達障がいの子をもつ保護者との連携について、保護者との具体的な関わり方を含めて学びます。保護者と教師がともに「できる」具体的な発達障がいへの支援について一緒に考えます。 ※幼稚園等でPlantを利用していない方は、直接、総合教育センター特別支援・相談課までお問い合わせください。	0.5	オンライン 研修 M
	令和7年7月23日 (水)	350	幼・小・中・高・特			
5	第2回特別支援教育アドバンスセミナー 「障がい重い子どもにおける教科の授業づくり」			平成29年4月告示の特別支援学校の学習指導要領では各教科等で育成を目指す資質・能力がより一層明確化されました。また、各教科の学びを通して、知識を得たり、技能を身に付けたりすることはもとより、授業を通してどんなことができるようになったのかという視点を重視しながら、指導を行うことが求められています。障がいの重い子どもたちの教科指導を行う上で押さえるべき事項について学びます。 ※幼稚園等でPlantを利用していない方は、直接、総合教育センター特別支援・相談課までお問い合わせください。	0.5	オンライン 研修 M
	令和7年7月25日 (金)	350	幼・小・中・高・特			
6	第3回特別支援教育アドバンスセミナー 「教室の中の視覚支援～わかる、できる、伝えられる、ように～」			視覚支援の基本的な種類や考え方だけでなく、実際の現場への導入と活用のポイントについて、具体的な事例を通して解説します。また、シンボルライブラリー「ドロップス」の特長やアプリについても紹介します。まず、環境を変えること、関わり方を変えること、それがあって初めて子どもも変わります。視覚支援はそのための効果的なツールの1つです。視覚支援を始めてみようという方はもちろん、より積極的に広めていこうという方にも役立つ内容です。 ※幼稚園等でPlantを利用していない方は、直接、総合教育センター特別支援・相談課までお問い合わせください。	0.5	オンライン 研修 M
	令和7年8月1日 (金)	350	幼・小・中・高・特			
7	教育支援委員会調査員研修講座			障がいのある幼児児童生徒の就学にかかる教育支援に必要な理論と技法を習得し、教育調査等の活動を行う市町村教育支援委員会調査員のための研修です。今年度、市町村教育支援委員会調査員として活動する予定のある方が対象で、市町村教育委員会からの推薦が必要です。 ※「Plant」による申込みは必要ありません。	1.5	第1回は0.5日 第2回は1日
	第1回 令和7年6月24日 (火) 総合教育センター	40	幼・小・中			
8	徳島県幼稚園等教育課程研究会 (午前中)			幼児教育と小学校教育では、各教科等の区別の有無や内容・時間の設定など様々な違いを有することから、幼保小が意識的に協働して「架け橋期」の教育の充実を図ることが求められています。そこで、これまで幼稚園教諭等が対象の本研究会を、今年度は小学校教諭等も参加できるものとなりました。「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」を中心に講演を行う予定です。教諭の方だけでなく、管理職の先生方も是非御参加ください。	0.5	義務教育課
	令和7年7月25日 (金)	10	小			
9	徳島県幼稚園等教育課程研究会 (終日)			これまで幼稚園教諭等が対象の本研究会を、今年度は小学校教諭等も参加できるものとなりました。 ○午前：講演 ○午後：協議会 【協議主題】幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について	1	義務教育課 M
	令和7年7月25日 (金)	10	小			
10	“あわ” じんけん講座			人権教育指導者用手引書「“あわ” 人権学習ハンドブック」の効果的な活用を図り、人権学習の授業改善につながる体験的参加型学習を進めるためのワークショップ活用の力量を高めます。	1	人権教育課 M
	令和7年7月30日 (水)	30	幼・小・中・高・特			
	総合教育センター	教職員	素養 (C) / 授業力 (B・C)			

※備考欄の **M** マークのついている研修講座はミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

※背景が の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

VI 教育職員免許法認定講習等

No	講習名	研修期日	研修場所	対象校種等	対象職種等	日数	定員
1	知的障がい児教育総論	令和7年7月22日（火）・23日（水）	22日総合教育センター 23日徳島県庁	実施要項に記載		2	85
2	肢体不自由児教育総論	令和7年7月24日（木）・25日（金）	北島町役場			2	85
3	特別支援教育の基礎理論	令和7年7月31日（木）・8月1日（金）	31日徳島県庁 1日自治研修センター			2	85
4	重複・LD等教育総論	令和7年8月4日（月）・5日（火）	4日徳島県教育会館 5日総合教育センター			2	85
5	病弱児教育総論	令和7年8月7日（木）・8日（金）	総合教育センター			2	85
6	視覚障がい児教育総論	令和7年8月18日（月）・19日（火）	北島町役場			2	85
7	聴覚障がい児教育総論	令和7年8月21日（木）・22日（金）	21日自治研修センター 22日徳島県教育会館			2	85

※申込み期間、受講決定日、対象職種等について、実施要項（5月中旬に配付予定）を御覧ください。

講習名	研修期日	研修場所	対象校種等	対象職種等	日数	定員
社会教育主事講習	令和7年8月予定	愛媛大学		実施要項に記載	未定	未定

VII 大学・研究機関等研修等

No	研修講座名	研修場所	対象校種	対象職種等	研修期日	定員	目的・内容等	日数	備考
1	総合教育センターWebサイトに掲載される「大学・研究機関等研修予定表」を御覧ください。	鳴門教育大学 徳島大学 徳島文理大学 四国大学 徳島工業短期大学 農業大学校 徳島県立博物館 阿南市科学センター あすたむらんど徳島 徳島県消費者情報センター 徳島税務署	幼・小・中・高・特	教職員	各実施機関の指定する日	各実施機関の設定する定員	詳細については、Plantまたは総合教育センターWebサイトに掲載の実施要項を御覧ください。	1または0.5	M 免外可

研修講座名	研修場所	対象校種 対象職種等	定員	目的・内容等	備考
鳴門教育大学・四国大学「小学校英語の専門人材育成プログラム」	鳴門教育大学 四国大学	小学校教員として3年以上の勤務経験を有するもの	各実施機関の設定する定員	この講習は文部科学省の「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（小学校外国語のための免許法認定講習等実施事業）」の委託を受け、鳴門教育大学と四国大学が連携して実施するものです。 令和2年度から始まった小学校外国語教育（外国語活動、外国語科）への対応、また、小中学校間の外国語（英語）教育の円滑な接続を図るため、本事業では、小学校外国語教育の授業実施に求められる英語指導力及び英語力の向上に資するプログラムを開講し、小学校外国語教育に中心となって対応できる教員を養成することを目的としています。 詳細については、鳴門教育大学Webサイト又は四国大学Webサイトを御覧ください。	オンライン研修 M

VIII 自主研修

No	研修講座名	研修場所	対象校種	対象職種等	研修期日	定員	目的・内容等	備考
1	カリキュラム・カフェ（カリカフェ）～授業改善セミナー～	オンライン	幼・小・中・高・特	教職員	長期休業日を除く第2第4金曜日	なし	詳細については、総合教育センターWebサイトに掲載の実施要項を御覧ください。	オンライン研修 免外可

IX 受託研修

No	研修講座名	研修場所	対象校種	対象職種等	研修期日と日数	定員	目的・内容等	備考
1	ICT学校サポート講座	総合教育センター パナコン研修室他	幼・小・中・高・特	教職員	要望に応じて随時0.5日	2名以上	学校や研究会などで、ホームページの運用やサーバーの管理、徳島県公立小中学校及び県立学校「業務支援システム」の操作・活用、電子黒板やタブレット端末などのICT機器の活用方法、授業支援アプリの活用方法、ExcelやPowerPointの基本操作、デジタル教材の作成など、GiGAスクールサポート事業内容を含めて、授業や校務で今すぐ必要なICT活用に関する研修を要望に応じて実施します。	※実施希望日の3週間前までに教育DX推進課までお問い合わせください。 免外可

※備考欄の「M」マークのついている研修講座はミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

※備考欄の「免外可」は、免許外担当者にも積極的な受講を勧めている研修講座です。

※背景が の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

10 研修講座の申込み

研修講座申込みは、「全国教員研修プラットフォーム:Plant（プラント）」（以下、Plantという。）により、各自、次の要領で行っていただきます。学校管理職によるPlantでの申込み承認処理を経て、申込みが完了します。

(1) 入力方法

総合教育センターホームページの「教職員研修講座」をクリックしてください。

The screenshot shows the homepage of the Tokushima Prefectural Education Center. The navigation bar includes links for 'お知らせ' (Notice), '所長あいさつ' (Principal's Message), '事業概要' (Business Overview), '沿革' (History), 'コンセプト' (Concept), '施設予約' (Facility Reservation), '交通アクセス' (Access), and 'イベント情報他' (Event Information, etc.). The '教職員研修講座' (Teacher Training Course) link is highlighted in the '教職員研修講座' section. Below this, the 'Plant (全国教員研修プラットフォーム)' link is highlighted. A red arrow points from the 'Plant' link to a text box explaining that users can view implementation requirements without logging in. Another red arrow points from the 'Plant' link to a text box explaining that users can click on '研修申込み・履歴確認' (Training Application/History Confirmation) to proceed with the application process.

Plantへのログインを行わずに実施要項を閲覧する場合は、ここをクリック

申込み方法等、Plantの各種情報についてはここをクリック

Plant (全国教員研修プラットフォーム)

Plantへのログイン

研修申込み・履歴確認

Plant説明動画

おすすめコンテンツ

データ移行

Plantについての問合せ

「研修申込み・履歴確認」をクリックし、「研修申込みと履歴確認方法について」（教職員）を参照しながら、Plantへのログインと、研修の申込みを行ってください。

(2) 対象研修講座

全ての研修講座について、Plantから申込みを行ってください。

ただし、年次更新作業のため、Plantによる申込みは、5月から行っていただきます。4月中に開催される研修講座については、各研修の担当が一括申込みを行いますので、申込みの必要はありません。

また、希望研修〔「教育支援委員会調査員研修講座」を除いた研修講座〕と大学・研究機関等研修については、申込み期間が決まっています。5月7日（水）午前10時～5月16日（金）午後5時の期間に申込みを行ってください。

(3) 申込み方法

申込みは、まず各自がPlantにログインし、申し込む研修講座を確認してください。次に、学校管理職の承認を得て、希望する研修講座を各自で登録してください。学校管理職は学校管理職のログインIDとパスワードによりログインし、申請された申込みの承認・否決処理を行ってください。

その際、ミドルリーダー研修受講者が選択研修として申し込む研修講座については、必ず【ミドル専用】の研修講座から入力してください。

(4) 希望研修と大学・研究機関等研修の受講決定及び通知

受講決定者の氏名は、Plantで発表します。

なお、この発表をもって受講者の決定及び通知とします。

6月2日（月）午前10時以降

(5) 受講者の決定方法等

希望研修と大学・研究機関等研修については、次のように受講者を決定します。

【受講希望者数が定員を超過した場合】

抽選等で受講者を決定します。その際、ミドルリーダー研修受講者及び校内順位上位の者を優先させることがあります。

【受講希望者数が定員に満たない場合】

定員に満たない研修講座については、**二次募集**を行います。**6月2日（月）午前10時以降**にPlantで発表しますので、受講希望者は学校管理職の承認を得て、(3)と同様に、各自で申し込んでください。

なお、二次募集の最終の申込み期限は、各研修講座開催日の1週間前です。

(6) 欠席（遅刻・早退）の届

①欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が、その研修講座の担当者に電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。

②メールの件名は【欠席届】研修講座名としてください。

※公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園においては、送付文書（かがみ）を作成し、所管の市町教育委員会又は児童福祉担当部局へもメールに添付して提出してください。

徳島県立総合教育センター
Tokushima Prefectural Education Center

センター案内 > お知らせ 所長あいさつ 事業概要 沿革 コンセプト 施設予約 交通アクセス イベント情報他

研修者のページ > 教職員支援 学校支援 生涯学習 **教職員研修講座** 教育相談 特別支援 GIGA スクール推進 リンクリスト 資料・様式のダウンロード

ホーム
教職員研修講座
年間計画
講座要項
Eメールアドレス

教職員研修講座

このページは、教職員向け研修・講座についてのページです。

年間計画 講座要項 研修資料 e-ラーニング

提出書類のダウンロード 教職員支援コンテンツ 人材育成(研修好事例) Plant (全国教員研修プラットフォーム)

教職員研修の様式

- 研修欠席届**
- フレッシュ研修Ⅰ様式
- フレッシュ研修Ⅱ様式
- ジャンプアップ研修様式
- モデルリーダー研修様式
- 主幹教諭・指導教諭研修様式
- 主幹教諭研修（任用1年目・2年目：小・中）様式
- 学級リーダー研修（新任教頭等）様式
- 新事務職員研修様式
- 研修参加者名簿

ここをクリック

研修欠席届

研修欠席届

チェックした項目を **ダウンロード**

☐	名前	サイズ	更新日
☐	01総合教育センター提出用	-	2025-02-28 14:19:57
☐	02徳島県教育委員会提出用	-	2025-02-28 14:20:16

チェックした項目を **ダウンロード**

※注意※
基本研修の欠席届は、各研修の様式からダウンロードしてください。

(7) 研修講座中止の場合

研修当日、午前7時（午後開催の場合は午前10時）の時点で研修会場を含む地域（総合教育センターの場合は「板野町」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。振り替えて実施するかどうかについては、実施要項で確認してください。

ただし、主幹教諭研修 [P.25]、地域防災人材育成講座（防災スキルアップ研修）[P.28]、教育職員免許法認定講習、社会教育主事講習 [P.30] については、配付される実施要項で詳細を確認してください。

(8) 受講に際しての支援

受講に際し、支援（講義中や講義資料に関する情報保障、会場内での移動に関する支援など）を希望される方は、申し込む前に電話又はメールで各研修講座担当者まで御連絡ください。相談の上、対応いたします。

11 研修履歴の活用について

とくしま教員育成指標をもとに、該当するステージに必要な資質・能力を培うために、主体的に研修に取り組み、長期的な視野をもってキャリア形成を行っていく必要があります。

次の手順で個人の研修受講履歴を閲覧することで、研修計画の立案に役立てたり、ポートフォリオとして受講履歴を確認したりすることができます。

①Plantにログインします。(P31参照)

②「受講履歴」のタブをクリックすると、受講した研修についての情報が一覧表示されます。

Plant 全国教員研修プラットフォーム 画面ID: 09-01

学校 先生さん ログアウト

FAQ 目次マニュアル 別添 CSVフォーマット アカウント情報 パスワード変更 お問い合わせ

利用者TOP 重点目標 研修検索 研修申込状況 **受講履歴**

受講履歴一覧 受講履歴登録

受講履歴検索 検索 検索条件初期化 受講履歴出力 ☐ チャートを合わせて出力

年度 2024 研修名

検索 検索条件初期化

終了日	研修名	研修実施・運営者	指標/一般	終了日	感想入力
2024/6/28(金)		徳島県教育委員会	指標	2025/2/3(月)	入力
2025/1/31(金)		徳島市教育委員会	一般	2024/12/9(月)	入力

全 2件

「受講履歴一覧」には、Plantで申込みを行い、修了した研修の履歴が表示されます。

「受講履歴登録」には、令和6年度以前に受講した指標研修と、「受講履歴追加」や「受講履歴一括登録」で登録した一般研修の履歴が表示されます。

※詳細は、Plantの〈教員アカウント向けマニュアル〉(P42～)を参照してください。

12 利用案内

★総合教育センターでは、教職員の学びを積極的にサポートします★

カリキュラムサポートセンター

研修でセンターに来られたときなどに、ぜひお立ち寄りください。きっと、新しい情報を収集でき、明日からの授業に役立つはずです。

学校訪問や基本研修での各種指導案、研究大会資料、文部科学省・県指定研究紀要、実践事例集、事業報告書、教育図書、教育雑誌等を閲覧することができます。各種指導案と新着図書以外は、貸出（3週間以内）ができます。

★各種指導案の一覧及び教育研究資料の一部は、総合教育センターのWebサイトで検索できますので御活用ください。

★学習指導案の検索については「徳島県GIGAスクールサポートサイト」もぜひ御活用ください。



御利用いただける時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00
(長期休業期間中も開室しています)

注意

令和6年度より平日のみの開室となっております。

※都合により開室できない場合があります。来所前に、必ずWebサイトを御確認ください。

カリキュラムサポートセンター（電話）088-672-6412

カリキュラム・カフェ(カリカフェ)

開催日 第2・4金曜放課後（原則）

～学び続ける教職員をめざして～

授業力向上や学習指導について、先生方と悩みを共有しながら、よりよい授業づくりについて、一緒に考えていきましょう。

申込みは、Webサイトの【教職員支援・学校支援】→【カリキュラム・カフェ】→【申込み】からできます。多くの教職員の方々の御参加をお待ちしています。

～カリキュラム・カフェの活用方法～



学習指導案の書き方、日頃の授業について気になることなど、些細なことでも気軽に相談してください。



明日からの授業に、やる気と元気がより一層出てくるようサポートします。



問合せ・申込み先
学校経営支援課

(電話) 088-672-6420

★総合教育センターでは、教職員の学びを積極的にサポートします★

生涯学習の拠点「マナビィセンター（1階）」 ～子供たちと教職員の学びをサポートします～



図書コーナー

大型絵本や紙芝居等、各種教育関係図書も取りそろえています。また、幼児・児童生徒向けの「とくしまの子どものためのブックリスト100」の100冊セット貸しも行っています。朝読や授業でも御利用いただけます。

貸出期間は、基本3週間としておりますが、必要に応じて御相談ください。



視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーでは、DVD、VHSの視聴覚教材をはじめ、GoPro7やVRゴーグル、DVD一体型プロジェクター、ハンズフリー拡声器等の機器の貸出も行っています。貸出期間は、基本1週間としておりますが、校内研修や学校行事、学級・ホームルーム活動等で御利用の際は御相談ください。



交流コーナー

学校や各種団体等の作品展を行っています。
展示を希望される場合は、お問合せください。



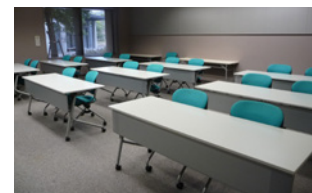
各種講座

家庭教育支援や生涯学習推進等を目的とした各種講座を実施しています。また、県立総合大学校事務局として、「ふるさと徳島」の文化・自然・くらし等を学ぶ講座や、地域の活性化につながる講座を実施しており、キャリア教育の充実や進路指導にも役立つ情報が満載です。ぜひ、御参加ください。また、児童・生徒・保護者の方々にも御案内ください。



まなびいルーム

定員20名程度の利用に最適な多目的ルームで、備え付けのプロジェクターやスクリーン、音響設備等があります。無料で、土曜日、日曜日、祝日も御利用いただけます。ぜひ、研究会などに御活用ください。



お問い合わせ：生涯学習支援課（1階 マナビィセンター内）088-672-5400

徳島県立総合教育センターホームページ

トップページより/生涯学習/「まなびひろば」

<https://www.tokushima-ec.ed.jp/>

「まなびひろば」QRコード



御利用いただける時間

開館時間：9：00～17：00

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、12月28日～1月4日、点検日

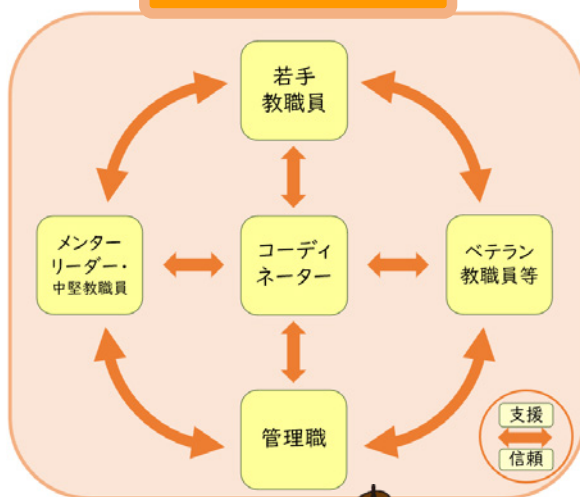
徳島型メンター制度Ⅱ（サークル型メンター制研修） ～ 対等な関係性の中で主体的・対話的に学び合う～

推進体制

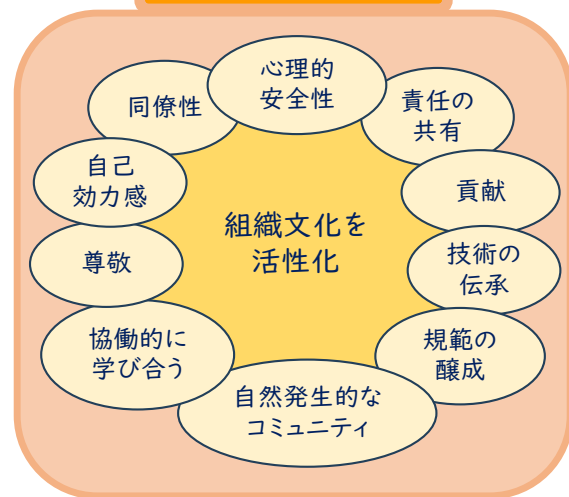


先輩教職員と若手教職員（初任者等）を軸にチームを組織し、全教職員の悩みや課題を解決するためのメンタルケアと、主体的・対話的に自ら学び続ける教職員の力量形成を図る 自己主導・自己調整型研修システム。

メンターチーム



生まれる効果



特徴



- ◇ メンターチーム内では、メンターと学習者の関係は流動的であり、対等な関係性のもと双方向に支援し合う。
(例) ベテラン教員がメンターの場合もあれば、若手教職員がメンターになるなど、研修テーマによって メンターが入れ替わる。
- ◇ コーディネーターを核に、メンターチームのニーズを捉え、ベテラン教員のもつ 教育技術等の伝承や若手教職員の 悩みや課題を解決するための研修等を企画する。
- ◇ メンターリーダーは、若手教職員のニーズを生かし、自発的な ミニ研修を実施する。
- ◇ 主体的・対話的に学ぶことにより、教職員全体の力量形成を図り、学校を活性化させる。

目的



- ◇ 若手教職員等の悩みや困り感の解消を図るとともに、教職員の個性や多様性を生かしつつ一人一人が 組織に貢献できる研修の展開を通じて、安心した研修の場づくり、職場環境づくりを目指す。
(貢献・心理的安全性)

《具体的な手立て》

- ・若手・中堅・ベテラン教員それぞれが、自己の強みを生かした研修ファシリテーターを務める。
- ・コーディネーター及びメンターリーダーを中心に若手・中堅の学びのニーズを生かした研修を企画・運営する。

- ◇ メンター制研修を軸に教職員が互いに学び合い、助け合うことができる 協働的な組織づくりを目指す。
(関係性の構築・同僚性の高まり・尊敬)

《具体的な手立て》

- ・メンバー同士の対話が促され、チーム意識が芽生えるような研修を実施する。
- ・多様な関わりが生まれるように 授業研究チームをつくり、対話型授業研究会をとり入れる。

学校全体の教育力の向上



お問い合わせ 徳島県教育委員会 教職員課 人材育成担当

● ● ● ● ● 交通アクセス ● ● ● ● ●

JRを利用する場合

- 板野駅で下車 車で約6分（駅前にタクシー有り）

自動車を利用する場合

- 高松自動車道 板野I.C. から車で約7分
- 徳島自動車道 藍住I.C. から車で約10分（県道鳴門-池田線に案内標識有り）

バスを利用する場合

- 徳島駅前バスターミナル ⑭番乗り場
徳島バス「あすたむらんど経由鍛冶屋原行」により、「総合教育センター」で下車

平日ダイヤ（下り）

徳島駅前	不動支所	直 道	板野駅南	総合教育センター	あすたむらんど	鍛冶屋原車庫
8:45	9:03	9:22	9:29	9:34	9:41	9:59
10:15	10:33	10:52	10:59	11:04	11:11	11:29
11:15	11:33	11:52	11:59	12:04	12:11	12:29
13:15	13:33	13:52	13:59	14:04	14:11	14:29

平日ダイヤ（上り）

鍛冶屋原車庫	あすたむらんど	総合教育センター	板野駅南	直 道	不動支所	徳島駅前
10:39	10:55	11:00	11:07	11:14	11:36	11:55
12:09	12:25	12:30	12:37	12:44	13:06	13:25
14:39	14:55	15:00	15:07	15:14	15:36	15:55
16:39	16:55	17:00	17:07	17:14	17:36	18:04

土日祝ダイヤ（下り）

徳島駅前	不動支所	直 道	板野駅南	総合教育センター	あすたむらんど	鍛冶屋原車庫
8:45	9:00	9:19	9:26	9:31	9:38	9:56
10:15	10:33	10:52	10:59	11:04	11:11	11:29
10:45	11:03	11:22	11:29	11:34	11:41	11:59
11:15	11:33	11:52	11:59	12:04	12:11	12:29
13:15	13:33	13:52	13:59	14:04	14:11	14:29
15:15	15:33	15:52	15:59	16:04	16:11	16:29

土日祝ダイヤ（上り）

鍛冶屋原車庫	あすたむらんど	総合教育センター	板野駅南	直 道	不動支所	徳島駅前
10:09	10:25	10:30	10:37	10:44	11:06	11:25
10:39	10:55	11:00	11:07	11:14	11:36	11:55
12:09	12:25	12:30	12:37	12:44	13:06	13:25
15:09	15:25	15:30	15:37	15:44	16:06	16:25
16:39	16:55	17:00	17:07	17:14	17:36	17:55

8/12～8/15、12/29～1/3は、土日祝ダイヤで運行
（令和7年4月1日現在）

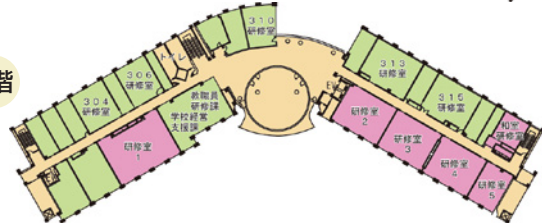
※交通の状況により多少遅れることがあります。

● ● ● ● ● フloor案内図 ● ● ● ● ●

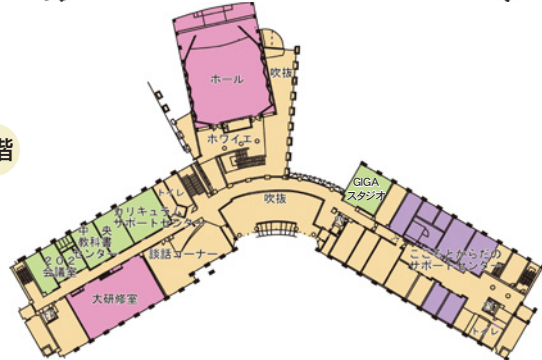
4階



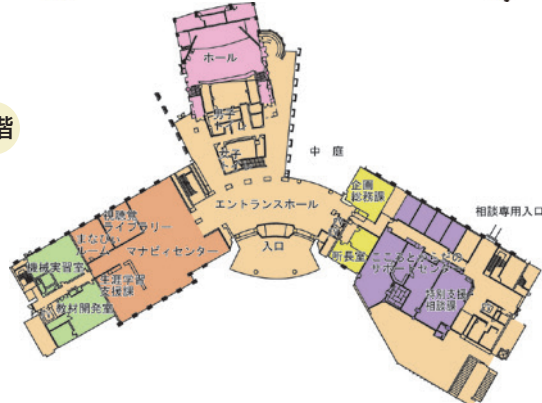
3階



2階



1階



周辺地図



徳島県立総合教育センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7

URL <https://www.tokushima-ec.ed.jp/>

企画総務課	電話 088-672-5000	ファクシミリ 088-672-5005
学校経営支援課	電話 088-672-5300	ファクシミリ 088-672-6411
教職員研修課	電話 088-672-5100	ファクシミリ 088-672-6411
特別支援・相談課	電話 088-602-7205	ファクシミリ 088-672-5229
生涯学習支援課	電話 088-672-5400	ファクシミリ 088-672-5462
教育DX推進課(分室)	電話 088-672-5064	

徳島県教育委員会

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

教育政策課	電話 088-621-3115	ファクシミリ 088-621-2879
教育DX推進課	電話 088-621-3246	ファクシミリ 088-621-3299
教職員課	電話 088-621-3125	ファクシミリ 088-621-2881
義務教育課	電話 088-621-3114	ファクシミリ 088-621-2882
高校教育課	電話 088-621-3135	ファクシミリ 088-621-2882
人権教育課	電話 088-621-3155	ファクシミリ 088-621-2885
いじめ・不登校対策課	電話 088-621-3143	ファクシミリ 088-621-2885
体育健康安全課	電話 088-621-3167	ファクシミリ 088-621-3173